

未来は「光」でおもしろくなる

**USHIO**

# インベスターズ ガイド 2005

Year ended March 31, 2005

LIGHT UP THE FUTURE

## PROFILE

ウシオは、1964年、産業用ランプの開発を事業の柱にした光源メーカーとしてスタートしました。以来、産業の技術革新に貢献する新たな光源の開発に取り組むとともに、独自の光学技術の開発・応用に努め、ユニットや装置、システム、さらには光のソリューションを提供する「光創造企業集団」へと発展し、世界のマーケットで存在価値を高めてきました。

エレクトロニクス、映像・画像、OA、照明などを主な事業領域とするウシオグループは、ITやナノテク・バイオなど最先端のハイテク分野で「世界シェアNo.1」を確保するとともに、マーケットインをさらに徹底した「カスタマーイン」の発想で、お客さま個別のニーズにより深くお応えできるよう努めています。

エレクトロニクス  
ELECTRONICS

映像・画像  
VISUAL IMAGE EQUIPMENT

OA  
OA EQUIPMENT

照明  
ILLUMINATION

財務ハイライト.....	1	営業の概況.....	12
ごあいさつ.....	2	エレクトロニクス分野.....	12
社長インタビュー.....	3	映像・画像分野.....	13
特集 中期ビジョンの重点テーマ「映像・画像事業」の戦略.....	6	OA分野.....	14
ビジネスアウトライン.....	6	照明分野.....	15
ランプビジネス.....	7	トピックス.....	16
シネマビジネス.....	8	社会と環境への取り組みーウシオのCSR活動ー.....	18
ノンシネマビジネス.....	10	財務セクション.....	20
		投資家情報.....	37
		国内海外ネットワーク.....	38

インベスターズガイド2005に関する注意事項

本誌の財務データは、日本の会計基準および関連法規にもとづいて作成したものであり、当社の英文アナニュアル・レポートとは異なる部分があります。

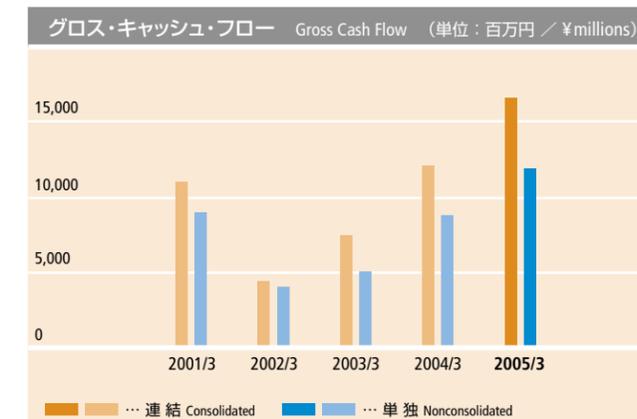
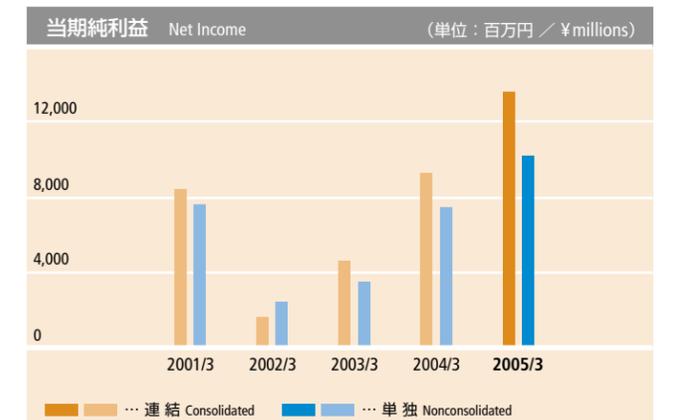
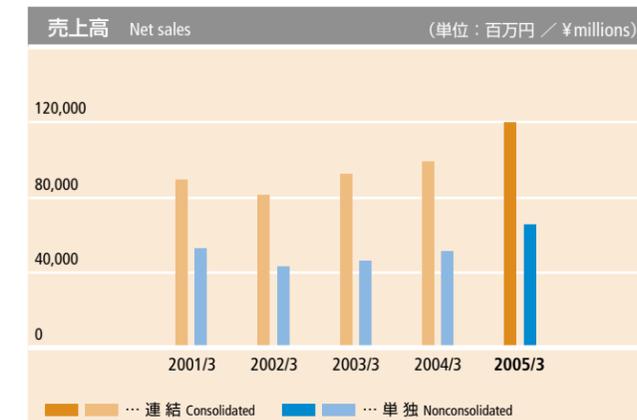
## 財務ハイライト

### Financial Highlights

(単位：百万円 / ¥millions)

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上高	Net sales	89,137	81,301	91,937	99,081	119,159
営業利益	Operating Income	15,338	9,775	12,190	15,006	20,189
経常利益	Ordinary Income	16,501	10,028	11,958	16,524	22,407
当期純利益	Net Income	8,464	1,643	4,651	9,346	13,634
設備投資額	Capital Expenditures	4,961	4,837	2,693	5,376	12,837
研究開発費	R&D Expenses	3,683	3,557	3,355	3,358	4,174
減価償却費	Depreciation and Amortization	2,603	2,816	2,889	2,748	3,014
グロス・キャッシュ・フロー	Gross Cash Flow	11,067	4,459	7,540	12,094	16,648
1株当たり当期純利益(円)	Earnings per Share (¥)	60.62	11.77	33.14	67.36	98.89
株主資本比率(株主資本/総資産%)	Equity Ratio (%)	67.7	71.4	70.7	69.3	69.1
株主資本利益率(ROE%)	Return on Equity (%)	9.4	1.6	4.4	8.4	11.0
総資本利益率(ROA%)	Return on Assets (%)	6.5	1.1	3.1	5.9	7.6

単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上高	Net sales	52,541	42,801	45,875	50,906	65,058
営業利益	Operating Income	12,933	7,980	8,911	10,055	14,313
経常利益	Ordinary Income	14,779	9,275	9,565	11,767	17,228
当期純利益	Net Income	7,615	2,468	3,545	7,494	10,256
設備投資額	Capital Expenditures	3,293	2,393	326	1,583	7,826
研究開発費	R&D Expenses	2,075	2,087	2,156	2,218	2,593
減価償却費	Depreciation and Amortization	1,364	1,571	1,497	1,313	1,659
グロス・キャッシュ・フロー	Gross Cash Flow	8,979	4,039	5,042	8,807	11,915
1株当たり当期純利益(円)	Earnings per Share (¥)	54.54	17.68	25.25	54.05	74.40
株主資本比率(株主資本/総資産%)	Equity Ratio (%)	76.6	80.3	80.1	76.8	77.1
株主資本利益率(ROE%)	Return on Equity (%)	9.3	2.7	3.6	7.3	9.1
総資本利益率(ROA%)	Return on Assets (%)	7.3	2.1	2.9	5.7	7.0



## 新たなスタートに立ち、「光のイノベーション」を通じて未来を拓きます。

ウシオグループは、創立40周年を迎えた2004年以降を「第2の創生期」と位置づけ、新しい企業理念を制定いたしました。ウシオ電機が設立当初に公布した「4つの基本方針」を根幹に、今日、企業に求められている社会的責任などを明記したものです。

創業以来、「光」の可能性を追求してきた当社は、「光」の機能と特性を活用した製品・装置の開発を続けて、ランプメーカーから「光のソリューションカンパニー」へと発展してきました。今日、当社の製品は、「明かり」の領域だけでなく、「エネルギー」として、産業や科学技術の最先端の分野で幅広く採用され、数多くの世界トップシェア製品を誕生させ、その評価を確固たるものにしていきます。

さらに、ウシオグループは、新たな光の可能性を拓くため、各方面のリーディングカンパニーや研究機関とのコラボレーションを積極的に推進し、次世代半導体製造システム、デジタル映像・画像システムなどの研究開発を進めるとともに、バイオ・医療・MEMS(Micro Electronic Mechanical Systems)をはじめとする新しいビジネスフィールドを開拓しています。

昨年から今年、大胆にリニューアル化を進めている播磨事業所は、まさにその拠点となるべく、将来の展望と在り方を見据えた発想で計画し、既に新たな芽が次々と生まれています。

変化のスピードが一段と速くなっているいま、最先端分野において「光」が果たす役割はますます重要になり、光の革新が先端製品の性能を左右する時代を迎えています。ウシオグループは、これからも高度な技術、効率的な生産手段を追求し、「光のイノベーション」を通じて、豊かな社会、産業、生活の発展に貢献し、ウシオグループの企業価値をいっそう高めてまいります。同時に、環境保全をはじめ社会的責任にも積極的に取り組んで、皆さまのご期待に応える開かれた企業集団でありつづけたいと考えています。

今後とも当社グループへの、いっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



牛尾 治朗  
代表取締役会長兼  
ウシオグループ代表



菅田 史朗  
代表取締役社長  
菅田 史朗

### ウシオグループの企業理念

- 1 会社の繁栄と社員一人ひとりの人生の充実を一致させること。
- 2 国際市場において十分競争力のある製品・サービスを提供すること。
- 3 優れた製品、新しい研究開発を通じ進んで社会に貢献すること。
- 4 オープンで自由な企業活動を通じ競争力を高め安定利潤を確保すると共に企業の社会的責任を果たすこと。

## 次の飛躍に向けて、光の新しい領域でウシオの力を発揮します。

### 菅田新社長、中期ビジョンを語る

2005年3月1日、代表取締役兼専務執行役員の菅田史朗が社長に就任しました。

2004年に創立40周年を迎えたウシオグループは、41年目から「第2の創生期」と位置づけて、

未来に向けた事業戦略、組織体制の改革など、新たな経営を始めています。

今号は、菅田新社長から、ウシオグループのこれからの取り組みを紹介します。



代表取締役社長

菅田 史朗 (すがた・しろう)

1949年神戸市生まれ。72年京都大学理学部卒、同年ウシオ電機入社。85年播磨工場ハロゲン技術部長代行。93年ドイツのグループ企業BLV LICHT-UND VAKUUMTECH-NIK GmbH社長。94年技術研究所長。99年事業開発室長兼新市場開発部長。2000年取締役兼上席執行役員、01年ランプ第二事業部長、03年ランプカンパニープレジデント(現在兼務)を歴任、04年取締役兼専務執行役員。同年代表取締役兼専務執行役員、05年3月代表取締役社長兼執行役員社長。

抱負

### 「第2の創生期」にふさわしい飛躍を

株主、投資家の皆さまには、日頃より格別のご支援ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

2005年3月期に過去最高益を更新するなど、10年にわたって堅実な実績をあげてきた前社長の田中昭洋から経営を受け継いで、身が引き締まる思いです。ウシオグループ「第2の創生期」に社長に就いた責任の重さを受け止め、次の時代の飛躍に向けた新たな戦略を積極的に進めて企業価値の最大化を果たしていきたいと考えています。

その出発点となる2005年3月期は、売上高、営業利益で過去最高の業績を達成し、「第2の創生期」にとって幸先の良いスタートとなりました。当社がこれまで取り組んできた市場ニーズに応えた技術開発、需要を実績に結びつけた営業展開、大幅な増産体制の実現など、全部門、全グループが一体となった総合力の成果と考えています。

この好業績をふまえて、2005年3月期の利益配当金は、普通配当を5円増配して1株につき20円とさせていただきます。また、2005年6月から、個人投資家の皆さまのご期待にお応えするために、1単元の株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

## 中期ビジョン 未来の収益の基礎を固める新戦略

ウシオグループは、2004年に未来の収益の基盤となる「中期ビジョン」を策定しました。その定量目標として、最終年度の2007年3月期に「営業利益250億円」の確保、「ROE(株主資本利益率)10%以上」の達成を掲げています。

当社グループの強みは、世界の優良顧客と緊密なコラボレーションのもとで先端製品をカスタムメイドし、高シェア製品を数多く有しているところにあります。こうした優良顧客との信頼関係をい

っそう深めて、高品質の製品、サービスを提供するとともに、光の応用領域をさらに拡げることが中期ビジョンのテーマです。

IT化やナノテクノロジー化など、ハイテクの進展につれて、従来にも増して新しい光源、光の装置・システムが強く求められています。ウシオグループは、これまで培ってきた独自の技術・ノウハウを生かして、新たな事業領域を創出していきます。

## 重点事業 「安定と成長」の源泉

ウシオグループでは、90年代後半から「露光事業」「高密度実装事業」「デジタル映像・画像事業」を重点事業として取り組んできました。

その間、エレクトロニクス分野と映像・画像分野が大きく成長し、これらの光製品の伸長が、今日の「安定と成長」の源泉となっています。

エレクトロニクス分野では、次世代型半導体露光装置用の光源、液晶パネル製造用の光源や光学装置、高密度実装用の光源・光学装置が伸長しています。もう一方の映像・画像分野では、データプロジェクター用の光源や各種の大型映像システムも堅調に推移しています。

とりわけ、映像・画像分野の将来性は高く、データプロジェクター用光源のシェア拡大、大型映像システムの市場育成などによって、現在の売上高構成比率35%を、2007年3月期には45%にまで高めたいと思っています。

## 新事業領域 キーワードは 「QOL(クオリティ・オブ・ライフ)」

新規事業と新規製品も、未来への布石として重要なテーマです。

当社グループは、産業用光源をコアに、光のユニット、光の装置、光のシステムへと技術開発の方向を定めてきました。これらの光技術を新しい成長分野に拡げること、中期ビジョンの大きな目標です。

時代が求める新分野では生活・医療・バイオ・環境などがあげられ、いずれも「クオリティ・オブ・ライフ(充実した質の高い生活)」につながる有望な領域です。

例えば、バイオ・医療分野では、光を使った分析・診断システムや治療システムなどが具体化されつつあります。その先駆けとして、2004年12月に、ローム(株)と共同で、バイオチップを使った世界初の小型肝機能検査システムを開発しました。

新しい光の創造で新しい市場を生み出すシーズ型開発と、ユーザーが求める光の開発・提供を図るニーズ型開発。この2つの開発スピードをあげて、ウシオでしかできない先進製品、サービスをお届けしたいと考えています。そのための異業種間アライアンス、研究開発投資、人材の確保・育成などにも、いっそう力を入れていきたいと思っています。

## 今期の展開 「スピード経営」と グループの「全体最適化」

2005年度は、中期ビジョンの達成に向けて、きわめて重要な1年と位置づけています。

現下の情勢は、中国を中心とするアジア経済の成長率の鈍化、米国・欧州の景気回復の遅れなどによって、調整局面にあります。しかし、液晶関連顧客の設備投資意欲は堅調で、データプロジェクター需要も拡大傾向にあるので、後半からは回復に転ずるものと期待しています。

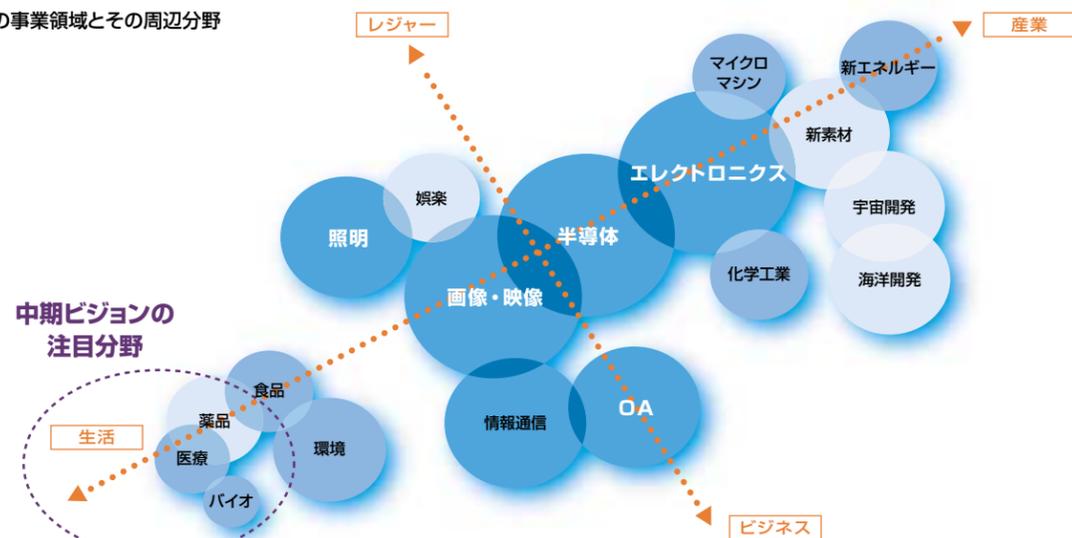
当社グループは、常に緊張感をもって、開発・製造・販売体制の再構築、経営のスピード化、グループの「全体最適化」を推し進めて、景気回復の機を逃さずに攻勢に転じ、着実に業績に結びつけていきます。

さらに、品質重視を第一に、製品・サービスのタイムリーな提供、製造コストの低減、海外での生産・販売体制の強化、ハイテク・成長分野に向けた新製品開発の促進などを通じて、事業基盤の強化と拡大にも力を注いでいきます。

株主をはじめ投資家の皆さまには、いっそうのご理解ご支援をお願い申し上げます。

## コラボレーションにより 光の領域を拡大しています

ウシオの事業領域とその周辺分野



(注)光の領域と座標軸は必ずしも一致していません。

## QOLを高める有望領域を 成長分野に拡大していきます



## 中期ビジョンの重点テーマ「映像・画像事業」の戦略 「ハイエンド映像ソリューションプロバイダー」をめざしていきます。

ウシオグループの「中期ビジョン」では、映像・画像事業の売上高構成比を、2007年3月期までに現在の35%から45%にまで高めることにしています。映像・画像の市場は、デジタル化・IT化によって大きな成長が期待でき、ウシオは「ハイエンド映像ソリューションプロバイダー」を志向して積極的な事業展開を進めています。

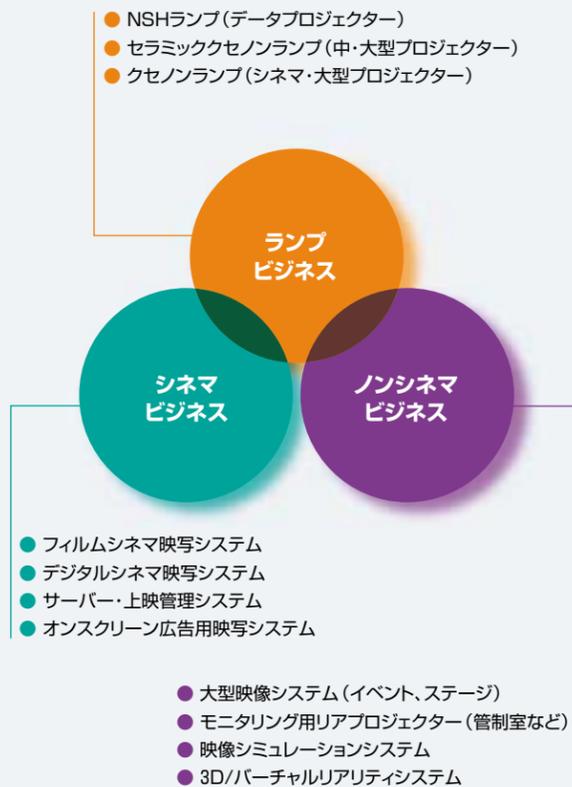
### ビジネスアウトライン — デジタル映像4技術を結集

ウシオグループの映像・画像事業は、ランプ、シネマ、ノンシネマの領域でグローバルに広がっています。

ウシオ電機は、1957年にシネマ映写機専用のクセノンショートアークランプを開発して以来、映像・画像用の光源を世界に供給してきました。その実績のもと、映像・画像事業のデジタル化への対応とトータル展開を進めるため、1992年に世界的な映写機メーカーの米国・クリスティ社を買収。1999年には、カナダのエレクトロホーム社のデジタル映像部門を買収してクリスティ社と合併、新たにクリスティ・デジタル・システムズ(CDS)社を設立しました。そして、2000年には、米国のテキサスインスツルメンツ(TI)社と、デジタルシネマ映画に欠くことのできない光学デバイス(シネマ用DMD/DLP)の供給契約を結びました。これにより、デジタル映像・画像事業に欠かせない光源、映写機、デジタル映像技術、光学デバイスの4つのキーテクノロジーが結集。すべての技術を保有する企業はウシオグループだけです。

ウシオグループは、このアドバンテージのもとで、ハイエンドな大型映像システムを中心に、システムソリューション、サービス、メンテナンスにわたってトータルサポートする「ハイエンド映像ソリューションプロバイダー」をめざしています。

ウシオグループの映像・画像事業



## ● ランプビジネス LIGHT SOURCES

ウシオグループは、映像・画像システムの要となるランプを幅広く製品化し、全世界に提供しています。

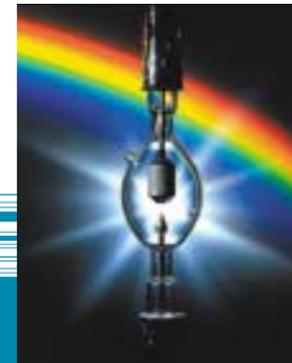
特に伸長著しいのが、データプロジェクター用ランプです。パソコンの映像やデータをプロジェクターでスクリーンに投射して会議やプレゼンテーションを行うデータプロジェクターの世界需要は、2004年度で350万台でしたが、2006年度には500万台に伸長すると見込まれています(当社推定)。

ウシオグループは、プロジェクターメーカーの新製品開発段階から参画し、最適なランプの供給に注力することで、データプロジェクター用ランプで35%の世界トップシェアを確保してきました。

また、シネマ映写機・大型映像システム用ランプでも、高輝度で、鮮鋭な映像表現を特長とするクセノンショートアークランプの開発を進め、シネマ映写機用ランプの世界シェアは55%に達しています。

ウシオグループでは、プロジェクターの需要と用途の拡大に応じて、ランプのラインナップの強化を図っています。その一環として、2004年に中・大型プロジェクター向けのセラミッククセノンランプのメーカーである米国のヴァーコニクス・ライティング社に資本参加し、生産・販売で協調していくことになりました。

この結果、ウシオグループの映像機器用光源は、さらにラインナップの幅を広げ、小型データプロジェクター(100Wクラス)から大型のシネマ映写機・映像システム(15kWクラス)まで、すべてのレンジで機器メーカーのニーズに応え、トップシェアを目指す体制となりました。



シネマ・大型映像システム用光源  
クセノンショートアークランプ

キセノンガスを封入した高輝度の点光源。人工光源の中で最も太陽光に近いスペクトル(光の分布)をもっており、色再現性に優れ、高輝度、長寿命、メンテナンスが容易などの特色があります。世界最大級の15kWから1kWまで幅広い製品をラインアップしています。



データプロジェクター用光源  
NSHランプ(高輝度放電ランプ)

新世代の高輝度・長寿命・ショートアークのランプ。データプロジェクターをはじめとする小型プロジェクター用の光源として幅広く採用されています。今後、最も大きな成長が期待できるランプです。



中・大型プロジェクター用光源  
ミラー内蔵型セラミックセノンランプ

セラミック—金属接合により、小型・高効率で排熱性に優れた安全性の高いランプ。色再現性にも優れ、産業用プロジェクターなどに採用されています。

## ● シネマビジネス CINEMA

世界の映画スクリーン数はおよそ7万といわれています。その約半分の3万6,000スクリーンを持つ米国をはじめ、欧州や日本では、シネマコンプレックスシアター（シネコン）などと呼ばれる、複数のスクリーンをもつ映画館が主力となってきました。ショッピングモールや市街地の再開発に伴って、10前後のスクリーンを持つシネコンが急増し、世界的にスクリーン数は大きく増加しました。日本のスクリーン数も、最盛期の7,500から一時2,000を切るまでに減少しましたが、90年代のシネコン・ブームで増加に転じ、現在は約3,000スクリーンまで回復しています。

シネマ業界で注目されるのは、フィルムからデ

ジタルへの転換とネットワークを活用した広告配信サービスです。デジタル化のメリットは、画像の劣化がなく、製作コストの削減だけでなく、衛星配信により配給コストが削減できることなどがあげられます。衛星配信を活用して、スポーツイベントやコンサートを映画館で中継するなど新しいサービスによるマーケット拡大も期待できます。

ウシオグループは、フィルム映写機で世界トップの実績をあげていますが、デジタル化にもいち早く対応し、高品位なデジタルシネマ映写機やオンスクリーン広告システム「CineNET」を製品化して映画界のデジタル化をリードしています。



### ■ シネマ映写機

ウシオグループで、映写機、映像システムの開発・製造を行っているのが、シネマ映写機で35%の世界トップシェアをもつCDSです。CDSは、デジタルシネマ映写機でも世界で70%のシェアをもっています。

デジタルシネマ映写機は、CDSの前身のエレクトロホーム社の時代からTI社と共同で開発に着手し、CDSが2000年にデジタルシネマ映写機「DCPシリーズ」を世界で初めて製品化しました。日本では、シネマ映写機で国内70%のシェアをもつウシオグループのジーベックスが2001年に映画館用デジタルシネマ映写機1号機を納入して以来、着実に実績をあげています。

フィルムレスのデジタル版は、「スターウォーズ エピソード1：ファントム・メナス」、「ターザン」「トイストーリー2」「ハリー・ポッター」などの話題作が次々と公開され、デジタル上映のニーズは高まっています。

ウシオグループでは、シネマ業界を構成する制作／配給／興業の3グループと連携をとりなが

ら、デジタル化の一層の促進に向け、積極的な役割を果たしています。

※2005年6月に、ウシオグループは、米国のデジタル映画配信システム会社と共同し、2年間に米国・カナダの2,500スクリーンにデジタル映写システムを導入するビジネス・スキームの立ち上げで合意しました。

### ■ オンスクリーン広告システム「CineNET」

映画館やロビーで放映される予告編や館内広告も、フィルム配給からデジタル配信に変わりつつあります。

ウシオグループでは、いち早くネットワーク配信型のオンスクリーン広告システム「CineNET」を製品化しています。「CineNET」は、CDSが米国の大手興行会社と共同で4000スクリーンに設置してサービスを開始しています。日本でもジーベックスが映画興行会社や広告代理店と共同で導入を進めており、映画館の省力化だけでなく、ネット配信による新しいマーケティング手法として広告主や広告業界から大きな注目を集めています。



シネマ映写機用  
クセノンショートアークランプ

### シネマ用光源

ランプは映画の進化を支えてきました。1896年にトーマス・エジソンが発明したキネマトスコープの光源は白熱灯でした。その後、カーボンアーク灯が使用されるようになり、1950年代にカラー映画が制作されるようになると、高輝度で色再現性の良いクセノンランプが主役になりました。

ウシオ電機は、1957年にシネマ映写機専用のクセノンショートアークランプを開発し、1966年には、70mmシネラマ用大型クセノンショートアークランプを開発しています。その後も、より高輝度・高演色なクセノンランプの開発を進めてワールドワイドに製品を供給しています。

### シネマコンプレックス（シネコン）

1つの劇場に10前後のスクリーンを備え、さまざまな映画を選んで楽しむことができるシネコンは1980年代に始まり、今日では映画の主力業態として世界的に定着しています。

シネコンは、映写機はじめ設備のマーケットを大きく広げましたが、デジタル化により、映画にとどまらずデジタル配信によるスポーツ中継や演劇上映など、大型映像アミューズメントビジネスのキーターミナルとなることが期待できます。



### オンスクリーン広告システム「CineNET」

ネットワークによる映像送出～表示システム。コントロールセンターから各映画館に予告編や館内広告のデータを送り、専用のプロジェクターで上映します。上映スケジュールや機器の遠隔管理・メンテナンスも行うことができるので、映画館の省力化に貢献します。

### 最新のデジタルシネマ映写機「CP2000」

TI社が開発したDMD（デジタル・マイクロミラー・デバイス）を使って、デジタルデータを映像化するDLP（Digital Light Processing）シネマ・プロジェクター。

DMDはワンチップに極微小な反射鏡を百万個オーダーで並べ、電気信号でミラーの角度を変えることで反射光をコントロールする。液晶に比べて光の利用効率が高く、高解像度が得られるので大画面のシネマ映写機や大型映像システムに最適。

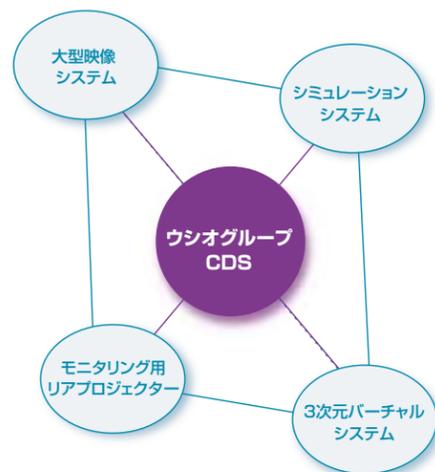
「CP2000」は、2048×1080画素の高解像度を実現した「次世代標準仕様」のデジタルシネマプロジェクターです。

DLPシネマは、TI社の商標です。

## ● ノンシネマビジネス NON CINEMA

ウシオグループは、ノンシネマの分野でも、ハイエンドな大型映像システムを中心にシステムソリューション、サービス、メンテナンスにわたるトータルサポートを展開し、ワールドワイドに実績をあげています。

そのシステムは、エンターテインメント・アミューズメント分野だけでなく、映像管制システム、訓練シミュレーションシステム、3次元バーチャルリアリティシステムなどの産業分野に広がっています。特に、バーチャル空間に完全に入り込むことができる「没入型」など3次元バーチャルリアリティシステムは、新しい映像アプリケーションとして、市場の拡大が期待されています。



### ■ 大型映像システム

テーマパークやステージ、コンサートなどでは、大型映像システムによる演出が広く使われるようになってきました。

ウシオグループでは、シネマで培ってきた高輝度ランプ、高精細・高画質なデジタル映像技術、光学デバイスを基盤として、フロントデジタルプロジェクターによる大型映像システムを幅広く製品化しています。

美術館や展示館での映像展示に使用する常設プロジェクター、さらに博覧会場、アミューズメント施設、コンサート会場やスポーツイベント会場などで利用される大型映像システムまで幅広く製品化しています。

### ■ 管制用映像システム

CDSでは、モニタリング用リアプロジェクターシステムで豊富な実績をあげています。50インチから70インチサイズのリアプロジェクターをベースに、目地のない滑らかな映像が特色で、グローバルネットワークを活用し、米国内だけでなく、イタリア国営鉄道、上海高速道路管制センター、韓国国営放送をはじめ、鉄道や道路交通の管制センター、防災センター、放送コントロールルームなどに幅広く採用されています。

### ■ 映像シミュレーションシステム

大型映像システムによる映像と物理的な動きとを連動させたシミュレーションシステムでも、CDSは幅広い実績があり、航空機や鉄道、自動車の操縦訓練システム、ミリタリー訓練、地質探査などにおいて、リアルなシミュレーションシステムを提供しています。

### ■ 3次元バーチャルリアリティシステム

大型映像システムと特殊なシャッターメガネを使って、自然な立体映像が得られる3次元バーチャルリアリティシステムです。

5台のプロジェクターを使用した最新の没入型バーチャルリアリティシステム「ホロ・ステージ」は、あたかもバーチャル世界に入り込んだような映像環境をつくることができると評価され、大手自動車メーカーに導入されて、実物大の車を再現したデザイン開発に活用されています。

また、家電メーカーでもリビング空間を再現し、インテリアに合わせた家電品のデザイン検討などに利用されています。さらに、3次元バーチャルリアリティシステムは、地球科学や医学、気象分野など、通常では見えない状況の可視化にも使われており、建築設計、エンターテインメントの領域でも幅広く利用されることが期待できます。



### 大型映像システム用DLPプロジェクター

ステージ、コンサートをはじめ過酷な使用に耐える高輝度・高解像度のハイエンドモデル。3チップDMDエンジン搭載で解像度は最大2048×1080を達成、2~6KWクセノンランプを搭載し、最大25000ルーメンの明るさを確保、プロフェッショナルのニーズに応えるハイレゾリューション&ハイクオリティな大画面映像を実現します。



テーマパークやイベント、コンサートなどでは、大型映像は欠かせない演出アイテムとなっています。CDSの「Roadie」をはじめとする大型プロジェクターは、世界のステージで数多くの実績を上げ、2005年の「愛・地球博」の映像演出でも多数採用されています。

(愛・地球博「鯉の池」のウォータージェットスクリーンへのプロジェクション)

提供：Oracle Laser Productions and Oracle Projects International



上海の高速道路管理センター。CDSの「Display Cube」CX50-100Uが12セット設置されています。



航空管制訓練用映像シミュレーションシステム

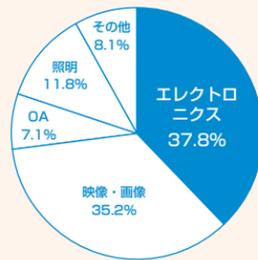


没入型バーチャルリアリティシステム

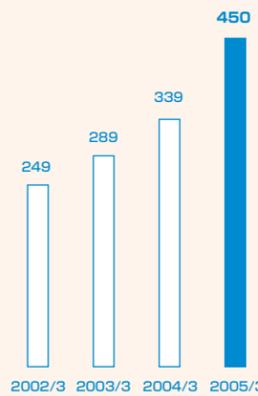
自動車の新車開発のデザインレビューや設計確認など、産業分野での実用化が始まっています。

エレクトロニクス分野

売上構成比



エレクトロニクス分野  
売上高  
(単位：億円)



高集積・高機能化が進むエレクトロニクス製品の開発・生産分野に、ウシオは「光源」「光学装置」を提供し、顧客企業の技術革新に貢献しています。

液晶製造関連が牽引車に

デジタル家電の中でも、液晶ディスプレイ (LCD) が、パソコンからテレビに用途を拡大しています。

これに伴い、ウシオの液晶製造装置関連事業が大きく伸長しました。とくに、液晶パネルを貼り合わせる「紫外線 (UV) 硬化装置」と「液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置」、液晶パネルと駆動用 IC を接続する「TAB 基板回路露光装置」が大幅に伸び、これら光学装置に使用する紫外線ランプやエキシマランプも売り上げを伸ばしました。

液晶関連以外にも、半導体露光用紫外線ランプ、DVD ピックアップレンズやデジタルカメラのレンズ固定に使われる紫外線照射装置「スポットキュア」、プリント基板用露光装置などが好調に推移し、当期のエレクトロニクス分野の売上高は、前期比 33% 増の 450 億円となりました。

ナンバーワン、オンリーワン商品を拡大

当社の製造する超高压 UV ランプは、半導体など

の微細な電子回路を形成するリソグラフィランプとして使用され、高い評価を得ています。当社は、半導体露光用光源で世界シェア 80%、液晶パネル露光用光源でも世界シェア 80% を占めています。

また、液晶製造用光学装置でも、「紫外線 (UV) 硬化装置」が世界シェア 70%、「液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置」が世界シェア 95%、「TAB 基板回路露光装置」は世界シェア 100% となっています。

今後の展開では、大画面化・高精細化に向けて開発が加速する液晶ディスプレイに向けて光源、光学装置の高度化を図る一方、2004 年に「TAB 外観検査装置」を製品化し、新たに検査分野にも参入しました。これらの技術は、プラズマディスプレイや有機 EL などにも応用展開が期待できます。

また、2004 年、次世代のマーケットとして期待される MEMS (Micro Electronic Mechanical System) 分野にも、「スプレーコーター (フォトレジスト塗布装置)」などの新製品を投入。新領域開拓にも積極的に取り組んでいます。



LCD リソグラフィ用超高压 UV ランプと露光装置光源部



液晶パネル貼り合わせ用紫外線硬化装置



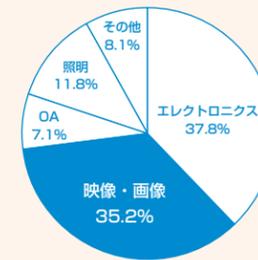
TAB 外観検査装置



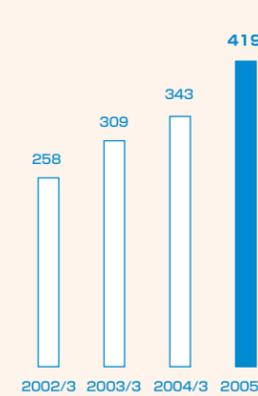
MEMS 用スプレーコーター (フォトレジスト塗布装置)

映像・画像分野

売上構成比



映像・画像分野  
売上高  
(単位：億円)



ウシオの光源や装置は、映像・画像分野でもグローバルに強固な地位を築いています。最近では、デジタル技術をコアにして、新しい映像システムとサービス、メンテナンスを含めたソリューションビジネスを展開し、「ハイエンド映像ソリューションプロバイダー」を目指しています。

市場拡大でランプ、映像機器ともに大きく伸長

データプロジェクター市場が 350 万台に拡大し、これに搭載する NSH ランプなどの高輝度放電ランプが売上を伸ばしました。

映像機器では、米国を中心に大型映像システムが堅調に推移し、シネマ映写機もシネマコンプレックスが増加している米国や欧州で販売が増加しました。

この結果、当期の映像・画像分野の売上高は前期比 22% 増の 419 億円となりました。

デジタル化を軸にグローバル展開

高輝度・高効率で色彩の再現性に優れた当社の高輝度放電ランプは、データプロジェクターに幅広く搭載されており、この領域で世界シェア 35% とトップクラスの実績をあげています。

一方、映像機器では、ウシオグループの映像・画像事業の中核部門であるクリスティー・デジタル・システム社 (CDS) を中心に、映像装置、映写機、光源、関連機材をトータルに提供しています。ウシオグループのフィルム映写機は世界シェア

35%、映写機用クセノンランプで世界シェア 55% を確保しています。さらに、映画のデジタル化にもいち早く対応し、デジタルシネマ映写機でも世界シェア 70% となっています。

こうした大型デジタル映像技術は、シネマ以前でも、イベント映像などのエンターテインメント分野から、コントロールルーム用のプロジェクターシステム、運転教習などのシミュレーションシステム、自動車や家電製品などの 3D 映像によるデザインレビューなど、産業用途にも着実に広がっています。

さらに、新しい事業として、ネットワークを活用したオンスクリーン広告のデジタル配信サービスや設備や施設のモニタリングシステムなどの事業も順調に育っています。

ウシオグループでは、今後も、未来事業のひとつに「デジタル映像・画像事業」を掲げて、グローバルに事業戦略を展開しています。



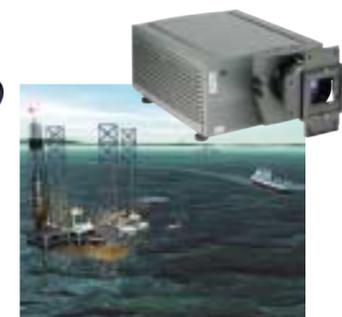
大型映像機器用  
15kW クセノンショートアークランプ



データプロジェクター用  
高輝度放電ランプ (NSH ランプ)



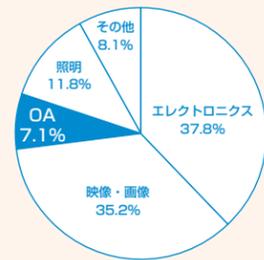
3D 映像による自動車デザインレビュー



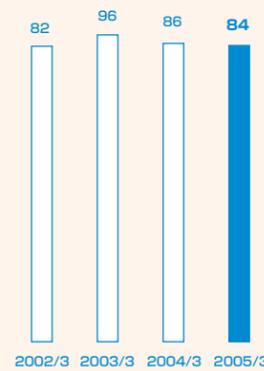
海洋資源開発用シミュレーション映像

OA分野

売上構成比



OA分野  
売上高  
(単位：億円)



ウシオのOA用光源は、ジアゾ式複写機（青焼きコピー）用UVランプ以来、半世紀にわたる蓄積があります。今日、大型プリンターから複写機、レーザープリンター、ファクシミリ用まで、さまざまなランプを提供しています。

高付加価値化とコストダウンに努める

OA用ランプは、複写機や大型プリンター市場向けを中心に安定した需要があります。

ウシオでは、従来のハロゲンランプからより付加価値の高い放電ランプへのシフトを進めるとともに、徹底した生産性向上によるコストダウンを推進してきました。

この結果、当期の売上高は、前期比2%減の84億円となりました。

消費地生産・適地生産を強化

複写機、プリンターでは、原稿読み取り用の露光光源、トナーの定着用熱源としてランプが活躍しています。

このうち、露光光源は、OA機器のデジタル化に対応して、従来のハロゲンランプから、より消費電力の少ない希ガス蛍光ランプへの置換が進んでいます。ウシオは、この希ガス蛍光ランプで、リコー、富士ゼロックス、キヤノンなどの大手OA機器メーカーに製品を納入しており、世界シェア65%とトップの地位を得ています。

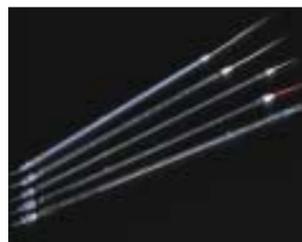
ウシオは、今後も、高度化・多様化する事務機器に定めるランプ、光源ユニットを幅広く提供していくことにしています。

もうひとつのテーマが、消費地生産・適地生産体制によるコストダウンです。近年、事務機器メーカーの生産が中国にシフトする傾向が強まっていますが、これに対応して、ウシオでは2003年に広東省州広州に番禺工場を設立したのに続いて、2004年に江蘇省蘇州に蘇州工場を設立しました。同工場は2005年1月から稼働し、OA機器用ランプの生産を開始しています。（プロジェクター用ランプの後工程も行っています）

これにより、OA分野におけるウシオグループの生産拠点は、Ushio Philippines, Inc.をあわせて3拠点となり、①供給能力 ②納期対応力 ③リスク対応力の面から、ユーザーからより一層信頼される生産体制を築いています。



コピー機用希ガス蛍光ランプ（ユニット）



トナー定着用ハロゲンランプ

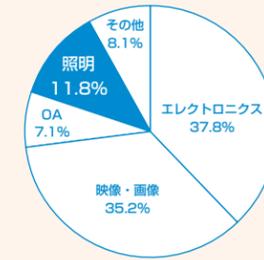


蘇州工場 (USHIO (SUZHOU) CO., LTD.)

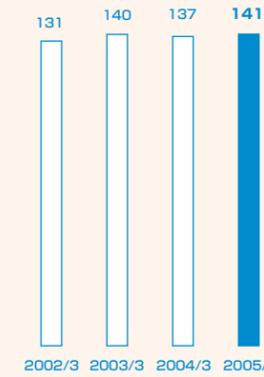


番禺工場 (USHIO HONG KONG, LTD. PANYU PLANT)

売上構成比



照明分野  
売上高  
(単位：億円)



照明分野

ウシオグループは、舞台・スタジオ・式場などの照明システム、店舗・商業用照明システムでも豊富な実績があり、光による斬新な空間演出に貢献しています。また、自動車用ハロゲンランプや航空照明などの分野でも幅広いニーズに応えています。

新製品効果で売上げを拡大

照明分野は、ウシオの総売上高に対して12%を占める大きな事業の柱となっています。この市場は世界的に成熟化しつつありますが、ウシオは機能・デザイン性に優れた新製品の開発を積極的に進めることで実績を広げています。当期の照明分野の売上高は、前期比3%増の141億円となりました。

光によるトータルな空間演出に注力

ウシオは、2004年4月にウシオユーテックとウシオライティングが合併してスタートした新生ウシオライティングを中心に、光源だけでなく、照明システムの設計や照明機材などの付帯設備まで総合的にサポートしています。

光源の開発においては、照明デザイナーとの密接なコラボレーションのもとで、現場が求める光源の開発に力を注ぎました。その成果の一つが安定器内蔵セラミックメタルハライドランプ「U-ONE」です。このランプは、わずか24Wの消費電力で100Wのハロゲンランプに

匹敵する明るさ（当社比）、6000時間の長寿命、放射熱が小さく空調コスト低減につながるなど省エネルギー性などの特性を備えており、2004年度グッドデザイン賞で金賞を受賞しました。

この他、ハイビジョン化に伴って高出力・大光量・高色温度が求められているステージ・スタジオ用として「シールドビーム型ハロゲンランプ」を開発、ランプからのまぶしさを極限まで抑えたグレアレスタイプミラー付ハロゲンランプ「MRX-JR」などを開発しています。

また、商業施設照明では、都心の再開発に伴う新しいショッピングビルやファッションビルの照明システムにもウシオの照明技術が幅広く採用されており、高い評価を得ています。

ウシオでは、今後も省エネルギーなど時代の要請に応える光源開発とともに、さまざまな空間を豊かに彩る光の演出で、幅広い事業を展開していきます。



ステージライティングの定番、ピンスポット



デジタルライティングシステム「DL-2」



グレアレスタイプランプ ミラー付ハロゲンランプ「MRX-JR」



安定器内蔵セラミックメタルハライドランプ「U-ONE」



金賞  
GOOD DESIGN AWARD 2004

## 未来に向け、積極的な設備投資 —播磨、御殿場で合計4棟を建設

ウシオでは、国内の研究開発・生産拠点の強化・充実を図るため、2004年から2005年にかけて4施設を建設するなど、かつてない規模の設備投資を進めています。

主力ランプ工場の播磨事業所では、10年、20年先を展望した『播磨リニューアル計画』のもと、お客様や大学など研究機関、取引先などのパートナーと共に歩み、次代を担う人材を育て、地域社会との結びつきを強める場として、新しい発想の工場づくりをめざしています。2004年12月にはA棟、B棟が完成。研究センター機能を果たすA棟には、ユーザーと共同で研究や実験ができるコラボレーションルームやプレゼンテーション・ミーティング

スペースを設置しています。ランプの製造スペースを集約したB棟は、高度な最新設備を導入するとともに、動きやすく、見学のお客様や地域の人々にも親しまれるよう、明るくオープンなデザインを採用しています。

播磨事業所では、引き続きランプの増産を図るC棟の建設を続けており、2005年11月に完成する予定です。

一方、御殿場事業所でも2005年8月完成を目標に新棟の建設を進めています。新棟により、ランプ、システム製品の増産体制が一段と強化されます。



オープンで明るい設計の「コラボレーションモール」

## 2005年6月から、 1単元の株式数を1,000株から100株に変更

ウシオは、株主に対する利益還元が企業として最重要課題の一つであることを常に認識し、財務体質と経営基盤の強化を図り、企業価値の増大とその還元に努めています。

一方、当社の1単元の株式数はこれまで1,000株でしたが、現在の株価を考慮すると個人投資家にとって手軽に入手しづらいという声が多く寄せられていました。そこで、個人投資家を中心

に投資家層の拡大を図るとともに、市場での当社の株式の流動性をいっそう高めることを目的に、2005年6月1日から、1単元の株式数を1,000株から100株に変更しました。

ウシオは、今後も株主との対話を重視し、株主本位の経営に力を注いでいくことにしています。

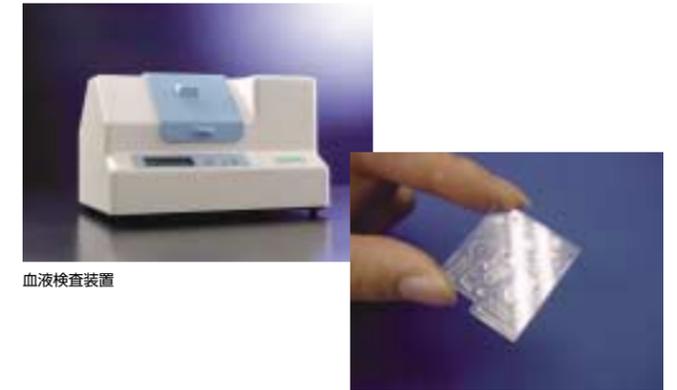
## 新分野開拓へ、 新開発・新製品相次ぐ

### ■ 世界初のバイオチップ肝機能検査システムを共同開発

ウシオは、ローム（株）と共同で、バイオチップを使った世界初の小型肝機能検査システムを開発しました。

これまでの肝機能検査は、血液を大型の自動分析装置を使って調べるため、結果が出るのに数日かかることもありましたが。今回のシステムは、ロームの半導体技術から生まれたバイオチップに極微量の血液を導入して処理を行い、ウシオが開発した小型血液分析装置により数分間で検査できます。この血液分析装置には、新開発の小型・高精度な $\mu$ （マイクロ）-ランプが使われています。

両社は、2007年の事業化を目指して、共同で開発・実用化を進めています。



血液検査装置

バイオチップ

### ■ 世界初、真空紫外線で表面改質マイクロTAS接着装置を開発

ウシオは、東京大学の協力を得て、世界で初めて真空紫外線を活用したマイクロTAS接着装置を開発しました。

マイクロTAS(Micro Total Analysis System)は、「微小化学分析システム」と呼ばれる装置で、ガラスやプラスチックの基板の上に微小な流路、マイクロポンプ、マイクロリアクタ、分析用センサー、情報処理・通信用デバイスなどをパッケージしたシステム。微量の試料で、血液や化学物質などの検査・モニタリングなどができるので、医療、バイオ、環境監視などの各方面から注目されています。

従来のマイクロTAS製造では、基板をシリコンゴム基板で貼り合わせてつくるのが一般的でしたが、剥がれが課題となっていました。その問題を解決するため、貼り合わせと表面改質をエキシマランプによる真空紫外線で行えるようにしたのが本装置で、すでに一号機が実験・研究機として東京大学生産技術研究所に納入されました。



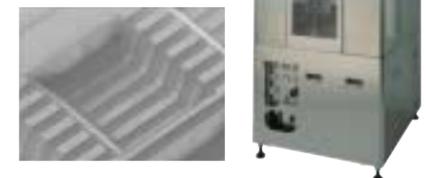
マイクロTAS接着装置

### ■ MEMS対応、スプレーコーターを開発

ウシオは、MEMS(Micro Electronic Mechanical Systems)製造に適したスプレー方式のフォトレジストコーター（レジスト塗布装置）を開発し、2004年12月から販売を開始しています。

MEMSとは、微小な機構部品と電子回路を同一基板上につくりこむことで、さまざまな機能を持たせることができる超小型システムです。その製造は、半導体製造と共通する部分が多く、フォトリソグラフィ（写真蝕刻法）によって回路や部品を形成するのが主流となっています。しかし、半導体製造では平坦なシリコンウェハーにフォトレジスト（感光剤）を塗布するのが一般的ですが、段差が多いMEMSの基板では特別な塗布技術が求められていました。

そこで、ウシオでは、東北大学大学院工学研究科の羽根・佐々木研究室の研究成果をもとに、段差基板にも均一に塗布できるスプレー方式の装置を共同開発しました。ウシオでは、段差基板への露光に適した大面積投影露光装置も製品化しており、今後、MEMS製造において、塗布、露光両面から幅広く対応していきます。



スプレーコータによるレジスト塗布で段差のある基板にも均一なパターン転写が可能になります。

# 持続可能な社会の実現に向けて

ウシオグループは、社会や環境との共生を大切にするため、2005年3月に制定した企業理念のもと、経済、社会、環境の3つの側面から多様な活動を展開しています。

## 「第二の創生期」 —新企業理念を制定しました

創業から40年を経過したウシオグループは、これからを「第二の創生期」と位置づけ、「創業の志」と「創始の精神」に立ち返り、新しい事業戦略や組織改革をスタートしています。2005年3月1日には、新しい企業理念を制定しました。これは、ウシオ電機が設立当初に公布した基本方針を根幹に、時代の変化により鮮明になってきた社会的課題を反映させたものです。

さらに、社員一人ひとりの取り組みとして「私たちの行動指針10」を設定、健全な財務体質、社会との共生、地球環境の保全を通じて、「社会に選ばれるウシオ」「ステークホルダーのニーズに応えられるウシオ」を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

**USHIO GROUP  
企業理念**

1. 会社の繁栄と社員一人ひとりの人生の充実を一致させること。
2. 国際市場において十分競争力のある製品・サービスを提供すること。
3. 優れた製品、新しい研究開発を通じ進んで社会に貢献すること。
4. オープンで自由な企業活動を通じ競争力を高め安定利潤を確保すると共に企業の社会的責任を果たすこと。

## CSR

### —幅広い視点から取り組んでいます

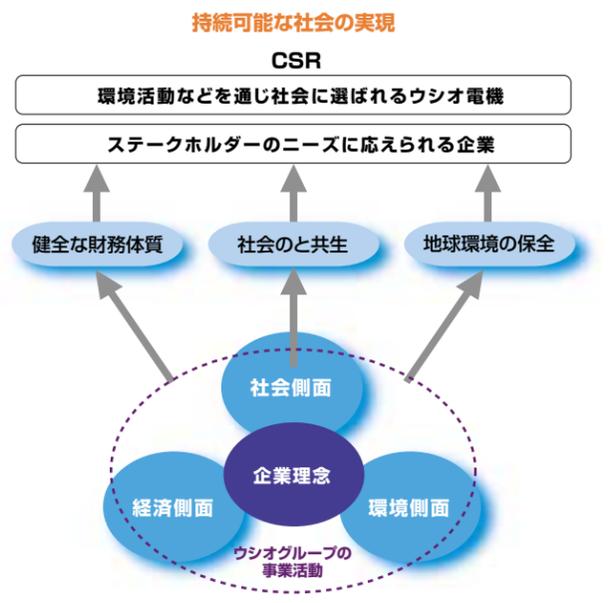
CSRの領域は、社会、環境、労働、人権、品質、コンプライアンス（法令遵守）、情報セキュリティ、リスクマネジメント、企業倫理など、さまざまなテーマにわたっています。

ウシオでは、こうしたテーマに応じていくために、経済、社会、環境の側面から幅広く取り組んでいます。

#### ウシオのCSRの考え方

1. 法令を遵守し、法令以外の一般的な規範、公序良俗を守り、社会に対して責任ある事業活動を行います。
2. 環境保全の取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
3. お客様や株主をはじめとするステークホルダーとの対話を推進し、社会からの信頼を得よう努めます。
4. 適切な情報開示を行い透明度の高い経営を実施し、社会からの信頼を得よう努めます。
5. 地域社会の一員として、地域に貢献するとともに、地域社会との共存共栄に努めます。
6. 社員の人格と個性を尊重し、働きやすい職場環境の整備に努め、会社の繁栄と社員一人ひとりの人生の充実を一致させます。

(注) CSR (Corporate Social Responsibility) 企業の社会的責任。企業活動や製品、サービスだけでなく、株主、従業員、顧客、協力会社、地域社会などのステークホルダーが協調することによって、社会や環境に好ましい影響を与える活動と定義されています。



## 環境への取り組み

### —環境経営のレベルアップを進めています

ウシオは、2003年度に環境方針と2006年までの環境行動計画を策定し、グループ会社と一体になって取り組んでいます。

2004年度では、環境経営の基礎整備に重点を置き、環境に関わる教育・啓発・各種ガイドラインの整備、環境報告書2004の発行、ホームページなどによる情報開示を図るとともに、グリーン調達・環境配慮型製品開発・地球温暖化対策・ゼロエミッション・リサイクルといった環境保全活動、環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証取得などを進めてきました。

2005年度も、持続可能な社会の構築という視点から、これまでの環境経営をよりレベルアップさせ、経済・社会・環境に総合的に配慮したサステナブル経営戦略をいっそう強化していくことにしています。

(注) RoHS (Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment) 指令。EUで発効した、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限指令。

## ISO14001

### —ウシオ電機国内全事業所で認証取得

ウシオでは、環境行動計画の中で「2006年度までにグループ海外工場まで環境マネジメントシステムを拡大する」目標を掲げています。

2004年度は、ウシオ電機本社、ランプカンパニーの御殿場事業所、東京営業本部、大阪支店が認証を取得し、ウシオ電機の全事業所での取得を完了しました。また、グループ企業の日本電子技術、筑波ウシオ電機も認証を取得しており、2005年度中にはグループ企業を含めて国内すべての事業所で認証取得する計画です。

グループ海外企業では、Taiwan Ushio Lighting, Inc.、Ushio Philippines, Inc.、Ushio (Suzhou) Co., Ltd.が新たに取得、2006年度中に全世界での認証取得を目指します。



環境行動計画の目標	
グリーン調達	部材グリーン調達率 99%以上 (2005年度) オフィス用品グリーン調達率 100%達成 (2004年度)
環境配慮型製品開発	主要開発製品すべてを環境配慮型製品化 (2006年度) * RoHS指令対象物質に対する代替化 (継続対応中) (2004年度)
地球温暖化対策 (省エネルギー対策)	売上高CO <sub>2</sub> 原単位エネルギー使用量を、1990年度比10%以上削減 (2006年度)
ゼロエミッション	ゼロエミッション (有効利用率99%以上) の達成 (2005年度)
環境マネジメントシステム(EMS)の構築	全事業所でEMSの認証取得 (2006年度)

### 各サイトISO14001認証一覧 (ISO9000シリーズを含む)

#### ■ ウシオ電機および国内グループ会社

会社名・事業所名	ISO14001	ISO9000シリーズ
播磨事業所	1997.10	1993.5
ウシオライティング(株)	2003.1	2000.12
システムカンパニー	2004.2	1999.7
ランプカンパニー 御殿場事業所・東京営業本部・大阪支店	2004.10	—
ウシオ電機本社	2004.12	—
日本電子技術(株)	2004.8	1999.5
筑波ウシオ電機(株)	2005.4	2002.1
群馬ウシオ電機(株)	2006年春取得予定	2004.3

#### ■ 海外グループ会社

会社名(または事業所名)	ISO14001	ISO9000シリーズ
Ushio Hong Kong Ltd.	2004.1	1998.2 (9002)
Taiwan Ushio Lighting, Inc.	2004.4	1997.7 (9002)
Ushio Philippines, Inc.	2004.6	2000.12 (9002)
BLV Licht-Und Vakuumtechnik GmbH	—	1991.12 (9001)
Christie Digital Systems Canada, Inc.	—	1995.8 (9001)
Ushio Taiwan, Inc.*	2006年春取得予定	1997 (9002)
Ushio (Suzhou)Co., Ltd.	2005.3	2005.3 (9001)

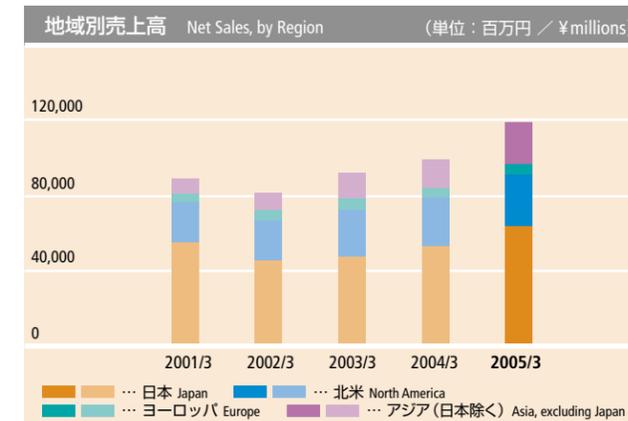
セグメント情報	21
収益性／成長性	22
効率性／安全性	24
設備投資等	26
投資指標	27
連結貸借対照表（6年分）	30
連結損益計算書（6年分）	32
連結キャッシュ・フロー計算書（3年分）	33
単独貸借対照表（6年分）	34
単独損益計算書（6年分）	36

## 財務セクション Financial Section

### 本誌に関する注意事項

本誌の財務データは、日本の会計基準および関連法規に基づいて作成したものであり、当社の英文アナニュアル・レポートとは異なる部分があります。

## セグメント情報 Segment Information



### 地域別売上高 Net Sales, by Region

(単位：百万円 / ¥ millions)

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
日本	Japan	55,054	45,694	47,367	53,073	63,857
北米	North America	21,244	21,011	24,965	25,620	27,275
ヨーロッパ	Europe	4,840	5,620	5,857	5,131	5,446
アジア (日本除く)	Asia, excluding Japan	7,997	8,975	13,747	15,256	22,581
総売上高	Total consolidated net sales	89,137	81,301	91,937	99,081	119,159

国または地域の区分は地理的近接度によっております。

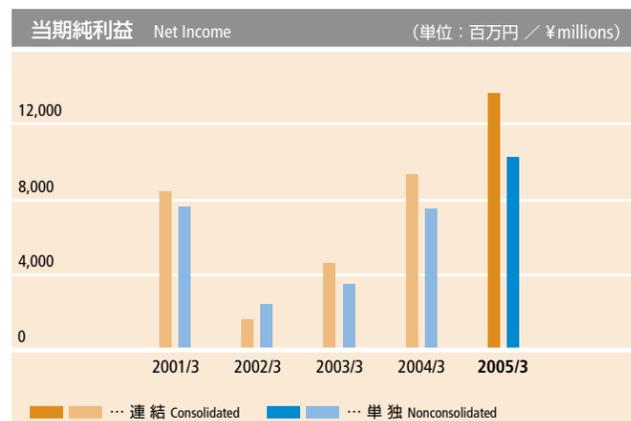
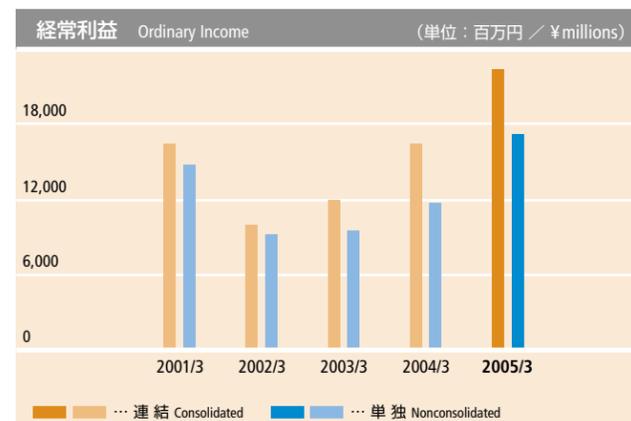
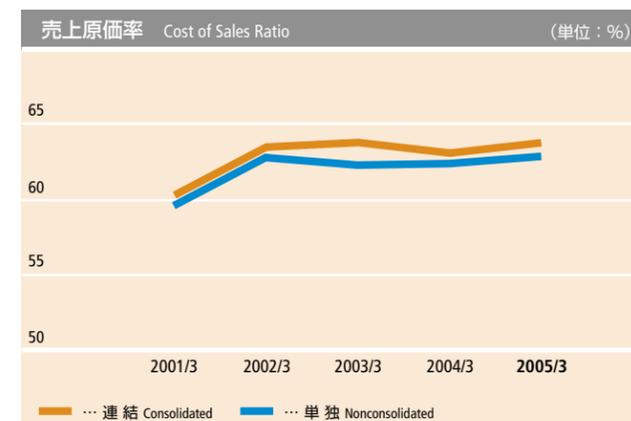
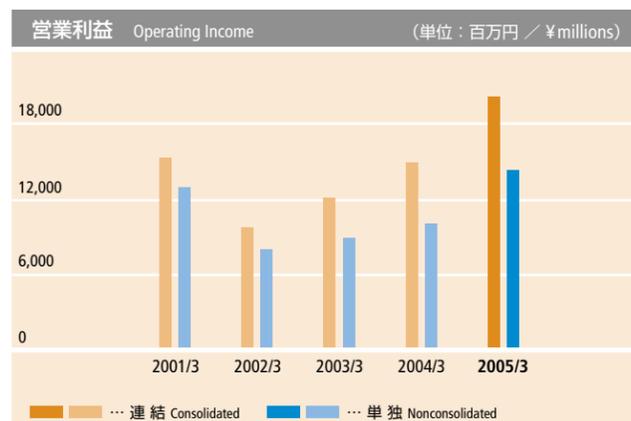
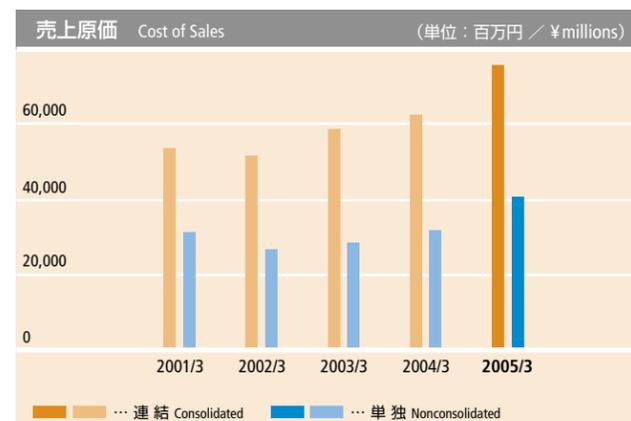
### セグメント別売上高 Net Sales, by Segment

(単位：百万円 / ¥ millions)

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
光応用製品	Light source application products	85,416	77,701	88,207	95,291	115,641
産業機械およびその他	Machinery for industrial uses and other business	3,721	3,600	3,729	3,790	3,518
総売上高	Total consolidated net sales	89,137	81,301	91,937	99,081	119,159

#### 各事業区分の主要製品

光応用製品：ハロゲンランプ、クセノンランプ、超高圧UVランプ、映画館用映写機および関連装置、紫外線硬化装置、各種露光装置等。  
産業機械およびその他：射出成形機、食品包装機械、自動制御等。



(単位：百万円 / ¥ millions)

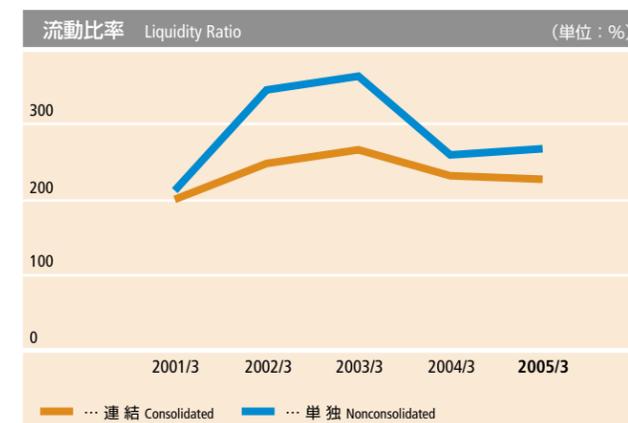
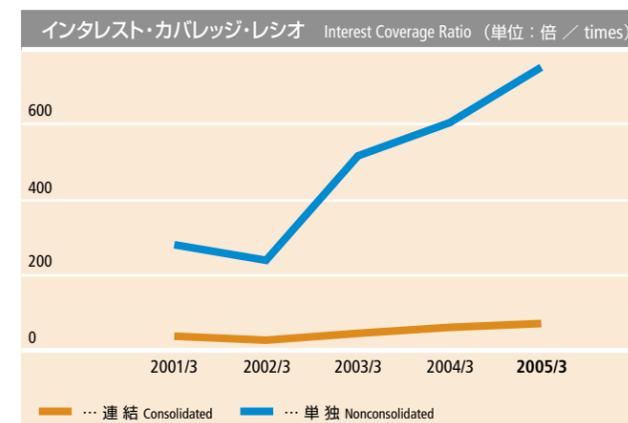
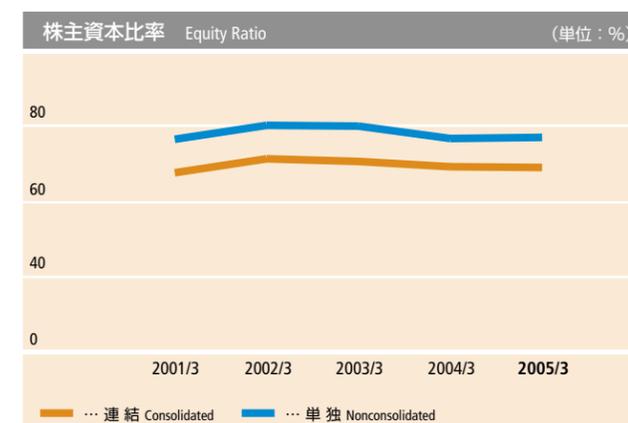
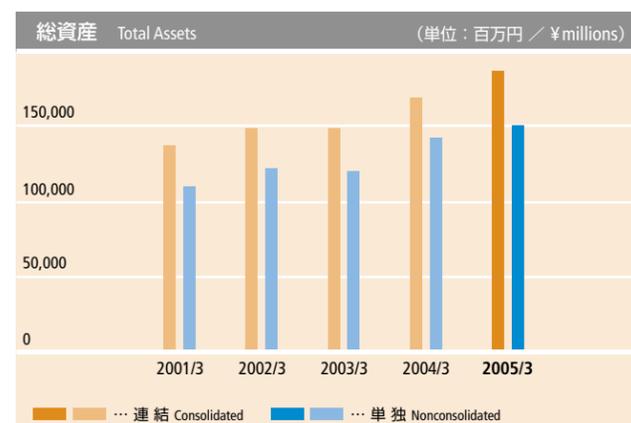
連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上高	Net sales	89,137	81,301	91,937	99,081	119,159
売上原価	Cost of Sales	53,751	51,661	58,666	62,539	75,845
営業利益	Operating Income	15,338	9,775	12,190	15,006	20,189
経常利益	Ordinary Income	16,501	10,028	11,958	16,524	22,407
当期純利益	Net Income	8,464	1,643	4,651	9,346	13,634
グロス・キャッシュ・フロー	Gross Cash Flow	11,067	4,459	7,540	12,094	16,648

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上原価率 (%)	Cost of Sales Ratio (%)	60.3	63.5	63.8	63.1	63.7
営業利益率 (%)	Operating Income Ratio (%)	17.2	12.0	13.3	15.1	16.9
経常利益率 (%)	Ordinary Income Ratio (%)	18.5	12.3	13.0	16.7	18.8
当期純利益率 (%)	Return on Sales (%)	9.5	2.0	5.1	9.4	11.4

単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上高	Net sales	52,541	42,801	45,875	50,906	65,058
売上原価	Cost of Sales	31,328	26,881	28,595	31,762	40,824
営業利益	Operating Income	12,933	7,980	8,911	10,055	14,313
経常利益	Ordinary Income	14,779	9,275	9,565	11,767	17,228
当期純利益	Net Income	7,615	2,468	3,545	7,494	10,256
グロス・キャッシュ・フロー	Gross Cash Flow	8,979	4,039	5,042	8,807	11,915

単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上原価率 (%)	Cost of Sales Ratio (%)	59.6	62.8	62.3	62.4	62.8
営業利益率 (%)	Operating Income Ratio (%)	24.6	18.6	19.4	19.8	22.0
経常利益率 (%)	Ordinary Income Ratio (%)	28.1	21.7	20.9	23.1	26.5
当期純利益率 (%)	Return on Sales (%)	14.5	5.8	7.7	14.7	15.8

■グロス・キャッシュ・フロー＝当期純利益＋減価償却費  
\*Gross Cash Flow = Net Income + Depreciation and Amortization



(単位: 百万円 / ¥ millions)

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
総資産	Total Assets	137,758	149,669	149,390	169,771	187,251
総資本利益率 (%)	Return on Assets (%)	6.5	1.1	3.1	5.9	7.6
総資本事業利益率 (%)	EBIT / Total Assets (%)	13.0	7.8	9.0	10.1	11.9
株主資本	Total Shareholders' Equity	93,261	106,838	105,582	117,726	129,302
株主資本利益率 (%)	Return on Equity (%)	9.4	1.6	4.4	8.4	11.0

単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
総資産	Total Assets	111,168	122,407	121,309	142,444	151,063
総資本利益率 (%)	Return on Assets (%)	7.3	2.1	2.9	5.7	7.0
総資本事業利益率 (%)	EBIT / Total Assets (%)	13.8	8.2	8.5	8.7	10.8
株主資本	Total Shareholders' Equity	85,157	98,260	97,116	109,391	116,460
株主資本利益率 (%)	Return on Equity (%)	9.3	2.7	3.6	7.3	9.1

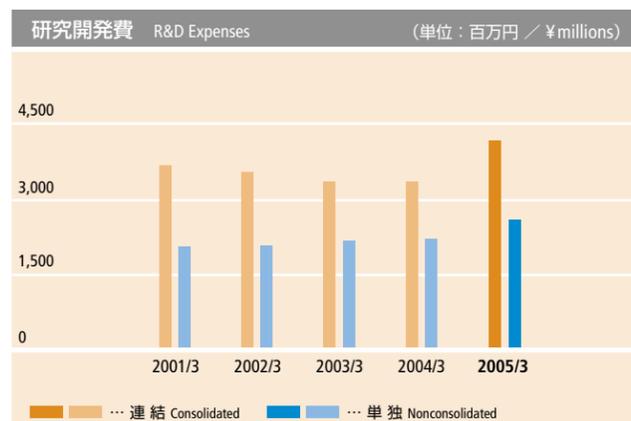
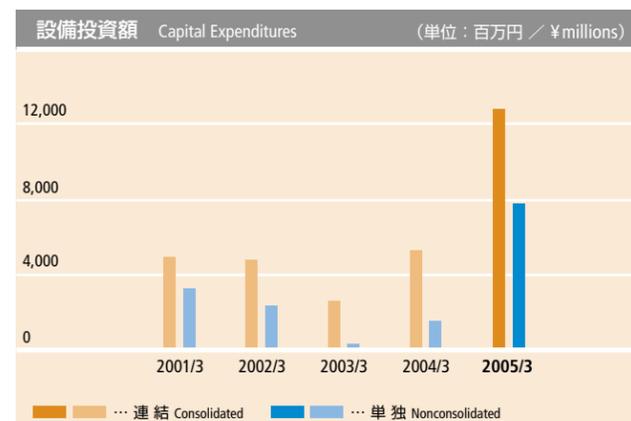
■ 総資本利益率 = 当期純利益 ÷ 期首・期末平均総資本 × 100 (%)  
 ■ 総資本事業利益率 = (営業利益 + 受取利息および配当金) ÷ 期首・期末平均総資本 × 100 (%)  
 ■ 株主資本利益率 = 当期純利益 ÷ 期首・期末平均株主資本 × 100 (%)  
 ※ EBIT: Earnings before interest and taxes = Operating income + interest and dividend income

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
総資本回転率 (回)	Total Assets Turnover (times)	0.69	0.57	0.61	0.62	0.67
株主資本比率 (%)	Equity Ratio (%)	67.7	71.4	70.7	69.3	69.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	Interest Coverage Ratio (times)	37.8	27.2	45.4	61.3	72.4
流動比率 (%)	Liquidity Ratio (%)	200.7	248.5	266.7	232.2	226.8
固定長期適合率 (%)	Fixed Assets / Long - Term Capital (%)	59.4	64.6	59.0	64.1	64.0

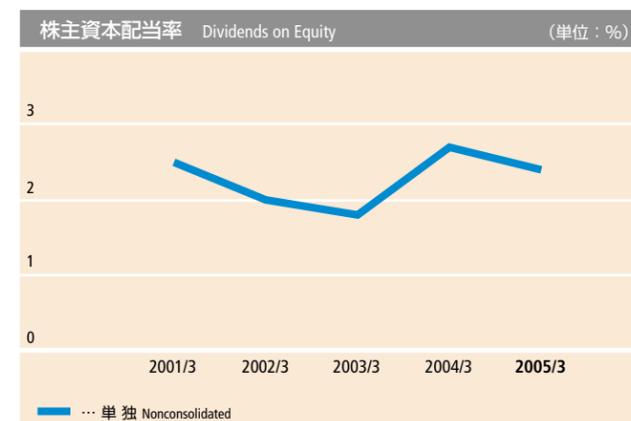
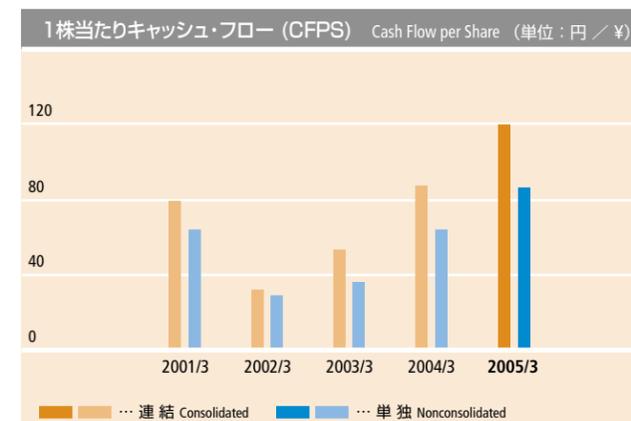
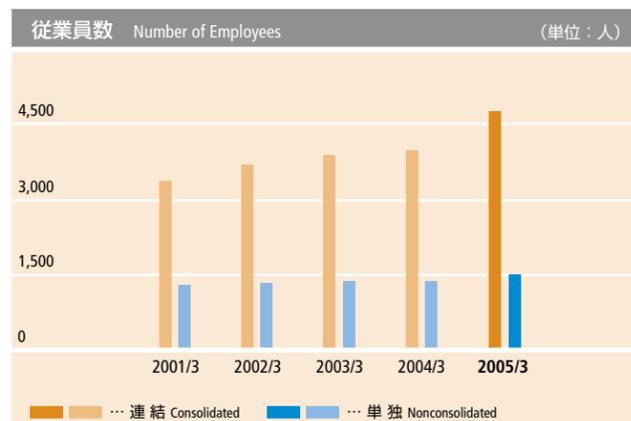
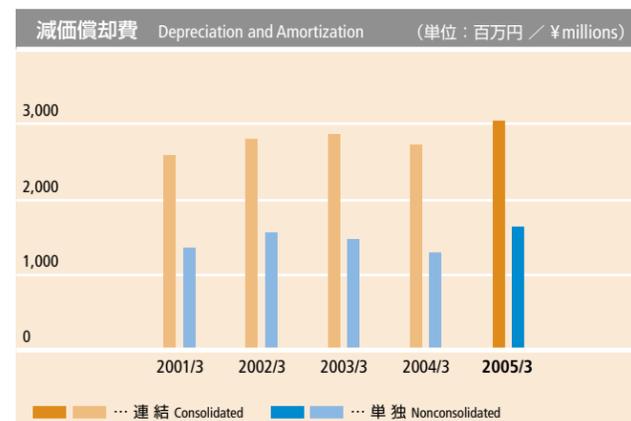
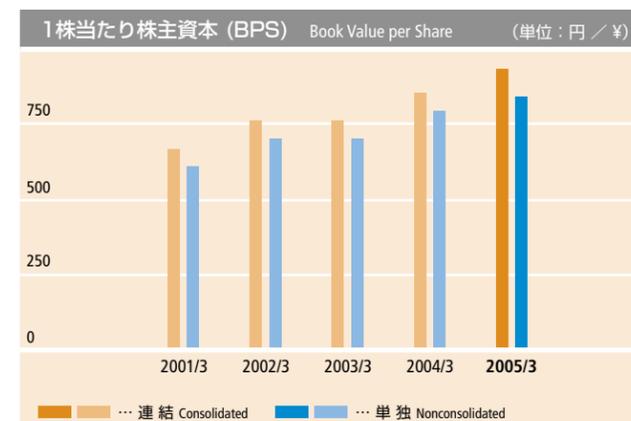
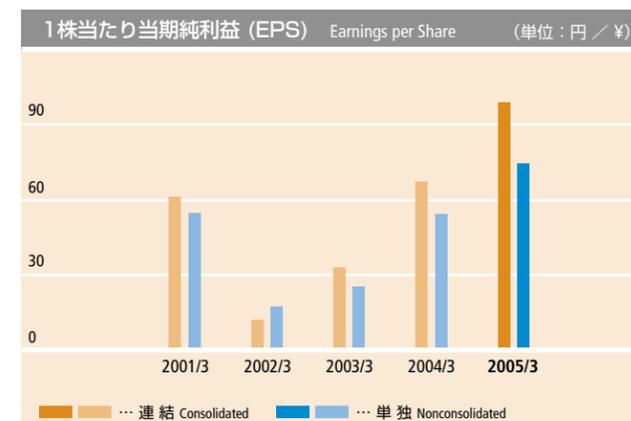
単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
総資本回転率 (回)	Total Assets Turnover (times)	0.51	0.37	0.38	0.39	0.44
株主資本比率 (%)	Equity Ratio (%)	76.6	80.3	80.1	76.8	77.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	Interest Coverage Ratio (times)	281.0	239.6	517.2	605.7	753.0
流動比率 (%)	Liquidity Ratio (%)	212.5	346.3	364.5	259.9	267.0
固定長期適合率 (%)	Fixed Assets / Long - Term Capital (%)	69.3	71.9	68.2	73.9	74.4

■ 総資本回転率 = 売上高 ÷ 期首・期末平均総資本 (回)  
 ■ 株主資本比率 = 期末株主資本 ÷ 期末総資本 × 100 (%)  
 ■ インタレスト・カバレッジ・レシオ = (営業利益 + 受取利息および配当金) ÷ 支払利息および割引料 (倍)  
 ■ 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)  
 ■ 固定長期適合率 = 固定資産 ÷ (株主資本 + 固定負債) × 100 (%)

設備投資等  
Capital Expenditures, etc.



投資指標  
Investment Indices



(単位：百万円 / ¥ millions)

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
設備投資額	Capital Expenditures	4,961	4,837	2,693	5,376	12,837
研究開発費	R&D Expenses	3,683	3,557	3,355	3,358	4,174
減価償却費	Depreciation and Amortization	2,603	2,816	2,889	2,748	3,014
従業員数 (人)	Number of Employees	3,394	3,706	3,889	3,971	4,755

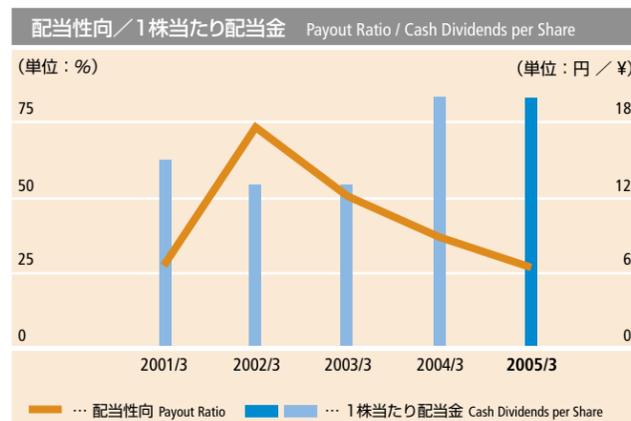
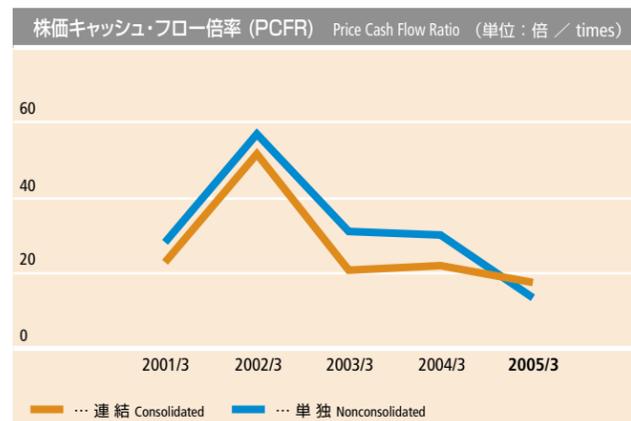
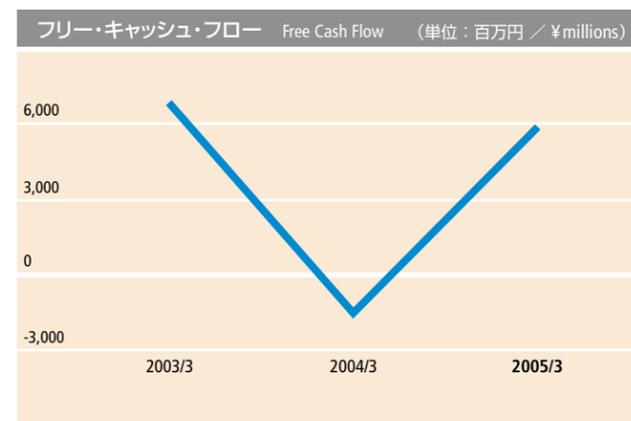
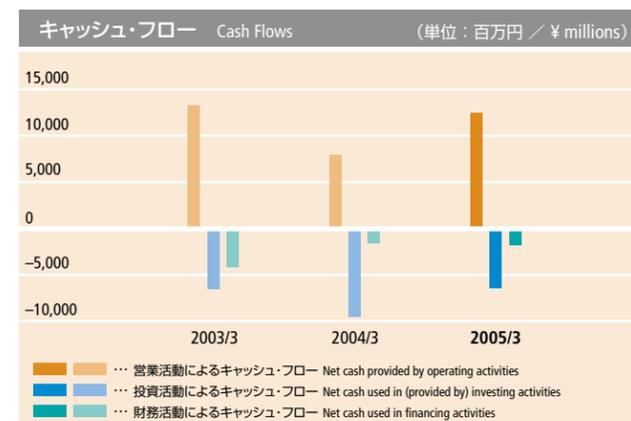
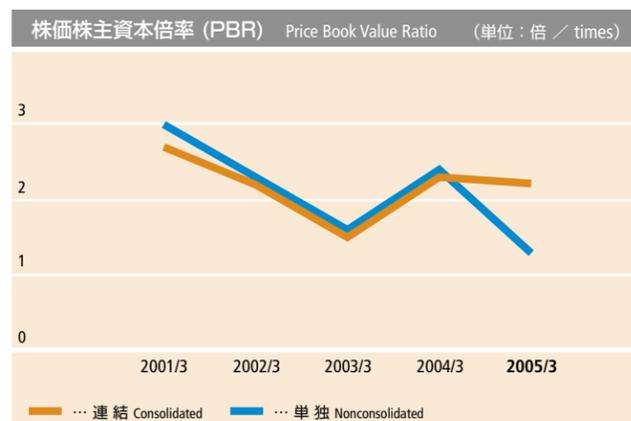
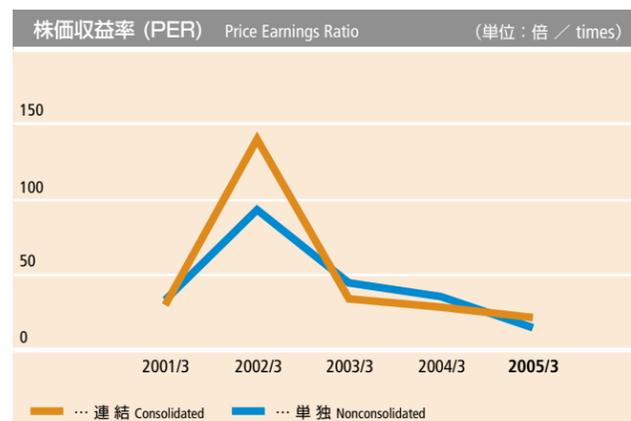
単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
設備投資額	Capital Expenditures	3,293	2,393	326	1,583	7,826
研究開発費	R&D Expenses	2,075	2,087	2,156	2,218	2,593
減価償却費	Depreciation and Amortization	1,364	1,571	1,497	1,313	1,659
従業員数 (人)	Number of Employees	1,295	1,346	1,378	1,371	1,498

(単位：円 / ¥)

連結	Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
1株当たり当期純利益 (EPS)	Earnings per Share	60.62	11.77	33.14	67.36	98.89
1株当たり株主資本 (BPS)	Book Value per Share	667.93	765.32	764.94	853.40	935.80
1株当たりキャッシュ・フロー (CFPS)	Cash Flow per Share	79.26	31.94	54.32	87.69	120.75

単独	Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
1株当たり当期純利益 (EPS) (円)	Earnings per Share	54.54	17.68	25.25	54.05	74.40
1株当たり株主資本 (BPS) (円)	Book Value per Share	609.89	703.87	703.65	793.06	842.85
1株当たりキャッシュ・フロー (CFPS) (円)	Cash Flow per Share	64.31	28.93	36.32	63.9	86.4
株主資本配当率 (%)	Dividends on Equity (%)	2.5	2.0	1.8	2.7	2.4

- 1株当たり当期純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均発行済株式総数
- 1株当たり株主資本 = 期末株主資本 ÷ 期末発行済株式総数
- 1株当たりキャッシュ・フロー = (グロス・キャッシュ・フロー ÷ 期中平均発行済株式総数)
- 株主資本配当率 = 配当金総額 ÷ 期首・期末平均株主資本 × 100 (%)



(単位: 百万円 / ¥ millions)

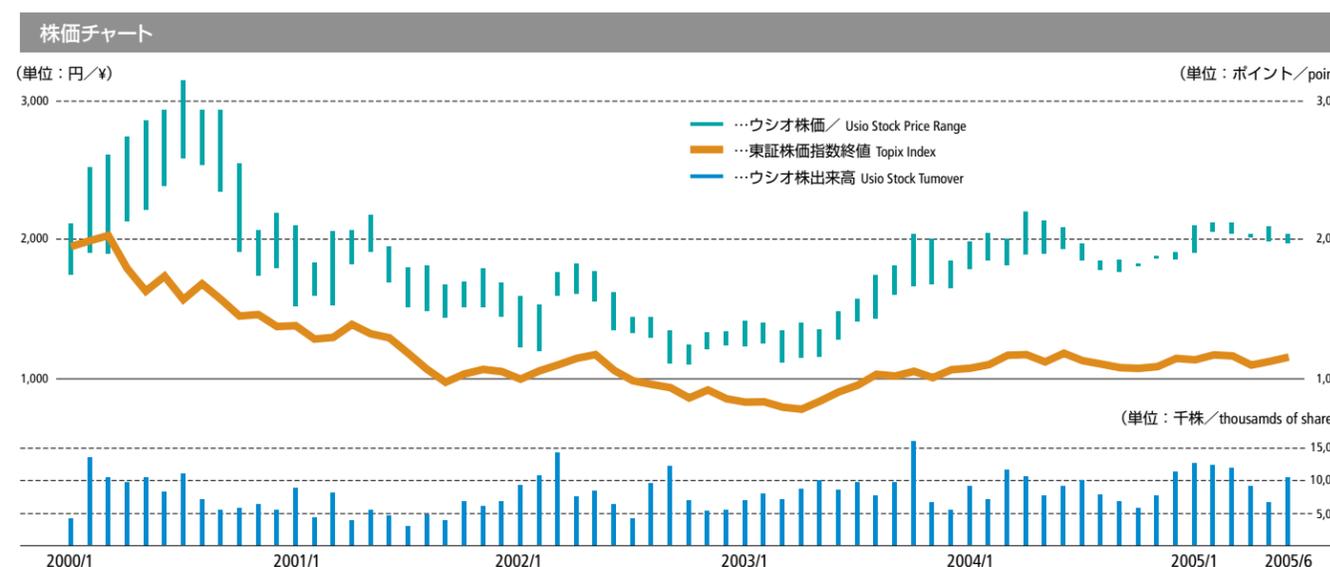
連結 Consolidated	2003年3月	2004年3月	2005年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,394	7,969	12,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,523	△9,490	△6,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,117	△1,592	△1,758
現金および現金同等物に係る換算差額	△471	△762	363
現金および現金同等物の増加額	2,282	△3,875	4,540
現金および現金同等物の期首残高	22,488	24,771	20,895
現金および現金同等物の期末残高	24,771	20,895	25,436
フリー・キャッシュ・フロー	6,871	△1,520	5,934

※フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

連結 Consolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
PER (倍)	30.0	140.2	34.1	28.6	20.7
PBR (倍)	2.7	2.2	1.5	2.3	2.2
PCFR (倍)	22.9	51.7	20.8	22.0	17.0

単独 Nonconsolidated	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
PER (倍)	33.3	93.3	44.7	35.6	15.2
PBR (倍)	3.0	2.3	1.6	2.4	1.3
PCFR (倍)	28.2	57.0	31.1	30.2	13.1
配当性向 (%)	27.5	73.5	50.6	37.0	26.9
1株当たり配当金 (円)	15.00	13.00	13.00	20.00	20.00

■ 配当性向=配当金総額÷当期純利益×100 (%)  
※PER、PBR、PCFRは各期末の株価に基づいて算出しております。



# 連結貸借対照表 (6年分)

## Six-Year Consolidated Balance Sheets

### 科目

(単位: 百万円 / ¥ millions)

資産の部	Assets	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
<b>流動資産</b>	<b>Current assets</b>	86,175	79,408	72,357	79,246	84,846	94,308
現金および預金	Cash and bank deposits	12,320	12,141	12,253	17,899	15,490	24,636
受取手形および売掛金	Notes and accounts receivable	25,238	30,566	25,252	27,463	32,468	35,622
有価証券	Marketable securities	34,134	14,179	12,513	11,107	13,111	3,399
たな卸資産	Inventories	11,127	15,018	15,727	15,319	16,650	22,431
繰延税金資産	Deferred tax assets	1,099	2,354	2,058	2,545	2,384	2,594
その他	Others	2,698	5,558	4,891	5,325	5,053	5,938
貸倒引当金	Allowance for doubtful accounts	△441	△410	△339	△414	△313	△312
<b>固定資産</b>	<b>Fixed assets</b>	31,129	57,871	77,311	70,143	84,925	92,942
有形固定資産	Property, plant and equipment	21,288	23,566	25,262	23,142	24,455	30,793
建物および構築物	Buildings and structures	6,911	7,716	8,336	8,310	8,119	11,312
機械装置および運搬費	Machinery, equipment and vehicles	3,420	3,417	4,729	4,060	3,702	4,442
土地	Land	9,128	9,357	9,533	8,117	8,889	8,198
建設仮勘定	Construction in progress	256	1,262	511	707	974	3,489
その他	Others	1,573	1,813	2,152	1,946	2,770	3,350
無形固定資産	Intangible assets	960	645	2,077	817	1,357	2,720
投資その他の資産	Investment and other assets	8,879	33,660	49,971	46,183	59,112	59,428
投資有価証券	Investment Securities	2,019	25,990	42,523	39,066	52,166	56,730
長期貸付金	Long-term loans receivable	—	—	—	2,581	2,511	233
前払年金費用	Prepaid pension expenses	—	—	—	—	299	258
繰延税金資産	Deferred tax assets	1,007	1,733	773	664	434	658
その他	Others	5,860	6,246	7,070	4,185	4,001	1,768
貸倒引当金	Allowance for doubtful accounts	△7	△309	△397	△313	△300	△222
<b>繰延資産</b>	<b>Deferred assets</b>	770	477	—	—	—	—
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>Translation adjustments</b>	3,154	—	—	—	—	—
<b>資産合計</b>	<b>Total assets</b>	121,230	137,758	149,669	149,390	169,771	187,251

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 科目

(単位: 百万円 / ¥ millions)

負債の部	Liabilities	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
<b>流動負債</b>	<b>Current liabilities</b>	25,725	39,561	29,114	29,714	36,537	41,575
支払手形および買掛金	Notes and accounts payable	12,475	16,853	12,019	13,569	14,391	17,574
短期借入金	Short-term bank loans	5,714	6,807	8,549	8,236	8,246	9,783
1年以内返済予定長期借入金	Current portion of long-term debt	214	3,361	1,835	139	2,688	466
未払法人税等	Income taxes payable	2,766	5,319	1,669	2,326	4,652	5,746
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	39	91	44	8	1	—
賞与引当金	Accrued bonuses	1,607	2,053	1,646	1,704	1,809	2,086
その他	Others	2,910	5,074	3,349	3,730	4,748	5,919
<b>固定負債</b>	<b>Long-term liabilities</b>	7,250	4,147	12,931	13,343	14,700	15,872
長期借入金	Long-term debt	5,789	2,478	2,838	3,924	886	2,832
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	27	28	8,166	6,945	11,613	10,867
退職給与引当金	Reserve for employee retirement allowances	159	—	—	—	—	—
退職給付引当金	Reserve for employee retirement benefits	—	292	371	633	365	343
役員退職給与引当金	Ritirement benefits for directors corporate auditors	913	838	975	1,171	1,214	851
その他	Others	362	509	578	668	621	977
<b>負債合計</b>	<b>Total liabilities</b>	32,975	43,709	42,045	43,058	51,238	57,448
<b>少数株主持分</b>	<b>Minority interests</b>	688	787	785	749	806	501
<b>資本の部</b>	<b>Shareholders' Equity</b>						
資本金	Common stock	19,556	19,556	19,556	—	—	—
資本準備金	Additional paid-in capital	28,118	28,118	28,118	—	—	—
連結剰余金	Retained earnings	39,898	46,634	46,116	—	—	—
利益準備金	Legal reserve	—	—	—	—	—	—
その他の剰余金	Retained earnings	—	—	—	—	—	—
その他有価証券評価差額金	Unrealized holding gain on other securities	—	—	13,007	—	—	—
為替換算調整勘定	Translation adjustments	—	△1,046	84	—	—	—
自己株式	Treasury stock, at cost	△7	△1	△45	—	—	—
<b>資本合計</b>	<b>Total shareholders' equity, net</b>	87,556	93,261	106,838	—	—	—
資本金	Common stock	—	—	—	19,556	19,556	19,556
資本剰余金	Additional paid-in capital	—	—	—	28,118	28,118	28,371
利益剰余金	Legal reserve	—	—	—	48,497	56,394	67,219
その他有価証券評価差額金	Unrealized holding gain on other securities	—	—	—	12,201	18,708	17,950
為替換算調整勘定	Translation adjustments	—	—	—	△1,190	△2,924	△1,960
自己株式	Treasury stock, at cost	—	—	—	△2,000	△2,126	△1,834
<b>資本合計</b>	<b>Total shareholders' equity, net</b>	—	—	—	105,582	117,726	129,302
<b>負債、少数株主持分および資本合計</b>	<b>Total liabilities, minority interests and shareholders' equity</b>	121,230	137,758	149,669	149,390	169,771	187,251

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（6年分）

Six-Year Consolidated Statements of Income

科目

(単位：百万円 / ¥ millions)

		2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上高	Net sales	73,109	89,137	81,301	91,937	99,081	119,159
売上原価	Cost of sales	45,360	53,751	51,661	58,666	62,539	75,845
売上総利益	Gross profit	27,749	35,385	29,640	33,271	36,542	43,313
販売費および一般管理費	Selling, general and administrative expenses	18,595	20,047	19,864	21,081	21,536	23,124
営業利益	Operating income	9,154	15,338	9,775	12,190	15,006	20,189
営業外収益	Other income	4,462	2,672	2,500	1,871	2,920	2,998
受取利息および配当金	Interest and dividend income	1,155	1,487	1,450	1,214	1,120	1,016
売買目的有価証券運用益	Profit on sale / revaluation of available-for-sale securities	—	—	—	—	289	34
有価証券売却益	Gain on sales of securities	2,788	—	—	—	932	456
為替差益	Exchange gain	—	412	—	116	—	746
持分法による投資利益	Equity in gains of affiliates	—	—	—	—	—	79
その他	Others	519	773	1,050	540	577	665
営業外費用	Other expenses	1,942	1,509	2,247	2,103	1,401	780
支払利息および割引料	Interest expenses	372	445	412	295	263	293
売買目的有価証券運用損	Realized and unrealized loss on trading securities, net	—	287	211	193	—	—
たな卸資産売却損	Loss on disposal of inventories	—	—	—	—	248	91
持分法による投資損失	Equity in losses of affiliates	98	187	1,053	986	310	—
為替差損	Exchange loss	328	—	—	—	154	—
その他	Others	1,144	590	571	628	424	395
経常利益	Ordinary income	11,674	16,501	10,028	11,958	16,524	22,407
特別利益	Extraordinary gain	1,204	1,339	10	53	694	84
固定資産売却益	Gain on sales of fixed assets	69	3	4	11	120	84
投資有価証券売却益	Gain on sales of investment securities	1,125	0	—	—	—	—
退職給付信託設定益	Gain arising from, valued at fair market, contributed to employees' retirement benefit trust	—	1,310	—	—	573	—
その他	Others	10	26	6	41	—	—
特別損失	Extraordinary loss	1,789	3,494	5,919	4,850	1,015	901
固定資産売却損	Loss on sales of fixed assets	0	23	0	—	—	217
固定資産売却損	Loss on disposal of fixed assets	—	—	—	—	182	327
有価証券評価損	Loss on revaluation of marketable securities	7	—	—	—	—	—
投資有価証券評価損	Loss on revaluation of investment securities	1,398	94	5,010	2,336	5	—
退職給付費用	Expense on retirement benefits	—	2,485	—	—	—	—
減損損失	Impairment loss of fixed assets	—	—	—	—	—	356
固定資産評価損	Loss on revaluation of fixed asset	—	—	—	1,281	—	—
連結調整勘定一時償却額	One time amortization of consolidation adjustment	—	—	—	952	440	—
その他	Others	384	891	909	279	386	—
税金等調整前当期純利益	Income before income taxes and other adjustments	11,089	14,346	4,120	7,161	16,203	21,591
法人税、住民税および事業税	Income taxes-current	4,928	7,555	2,404	3,101	6,487	8,298
法人税等調整額	Income taxed-deferred, net	△439	△1,817	△29	△664	295	△603
少数株主利益	Minority interests in earnings of affiliates	75	143	102	73	74	262
当期純利益	Net income	6,525	8,464	1,643	4,651	9,346	13,634

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（3年分）

Three-Year Consolidated Statements of Cash Flow

科目

(単位：百万円 / ¥ millions)

		2003年3月	2004年3月	2005年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	Operating activities			
税金等調整前当期純利益	Income before income taxes and minority interests in earnings of affiliates	7,161	16,203	21,591
減価償却費	Depreciation and amortization	2,889	2,748	3,014
受取利息および受取配当金	Interest and dividend income	△1,214	△1,120	△1,016
支払利息	Interest expense	295	263	293
売買目的有価証券運用益	Profit / Loss on sale / revaluation of available-for-sale securities	193	△289	△34
持分法による投資損失	Equity in losses of affiliates	986	310	—
持分法による投資利益	Equity in gains of affiliates	—	—	△79
有形固定資産売却益	Gain on sale of property, plant and equipment	△11	△120	△84
有形固定資産売却損	Loss on sales of property, plant and equipment	—	—	217
有形固定資産売却損	Loss on disposal of property, plant and equipment	94	142	327
有形固定資産評価損	Loss on revaluation of property, plant and equipment	1,281	—	—
減損損失	Impairment loss of fixed assets	—	—	356
連結調整勘定一時償却額	One time amortization of consolidation adjustment	952	440	△21
投資有価証券売却益	Gain on sales of investment securities	—	△932	△456
投資有価証券評価損	Loss on revaluation of investment securities	2,336	5	—
退職給付信託設定益	Gain arising from securities, valued at fair market, contributed to employees' retirement benefit trust	—	△573	—
売上債権の増加額	Increase in notes and accounts receivable	△2,650	△5,681	△2,614
たな卸資産の増加額	Increase in inventories	△66	△2,168	△5,034
仕入債務の増加額	Increase in notes and accounts payable	1,630	961	2,957
未払費用の増加額（又は減少額）	Increase (decrease) in accrued expenses	△4	△348	11
その他	Others	1,158	1,528	△389
役員賞与の支払額	Bonuses paid to directors and corporate auditors	△57	△54	△52
小計	Subtotal	14,975	11,314	18,985
利息および配当金の受取額	Interest and dividends received	1,128	1,076	1,217
利息の支払額	Interest paid	△306	△264	△291
法人税等の支払額	Income taxes paid	△2,402	△4,155	△7,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	Net cash provided by operating activities	13,394	7,969	12,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	Investing activities			
定期預金の預入による支出	Increase in time deposits	△2,016	△1,276	△1,481
定期預金の払戻による収入	Decrease in time deposits	1,835	984	1,342
有価証券の取得による支出	Purchases of short-term investments	△660	△1,345	△881
有価証券の償還および売却による収入	Proceeds from redemption and sales of short-term investments	1,126	2,863	6,327
有形固定資産の取得による支出	Purchases of property, plant and equipment	△2,913	△3,934	△8,403
有形固定資産の売却による収入	Proceeds from sales of property, plant and equipment	38	214	437
無形固定資産の取得による支出	Increase in intangible assets	—	—	△1,623
投資有価証券の取得による支出	Increase in investment securities	△4,352	△8,196	△4,163
投資有価証券の売却による収入	Proceeds from sales of investment securities	265	1,762	952
子会社株式の追加取得による支出	Payment for additional purchase of subsidiary shares	△40	—	—
新規連結子会社の株式取得に伴う支出	Acquisition of newly consolidated subsidiaries	—	△472	—
出資金の払込による支出	Increase in investments in unincorporated entities	△100	—	—
出資金の払戻による収入	Decrease in investments in unincorporated entities	39	105	—
長期貸付けによる支出	Increase in long-term loans	△1,157	△216	△138
長期貸付金の回収による収入	Decrease in long-term loans	1,306	13	1,073
その他	Others	107	8	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	Net cash used in (provided by) investing activities	△6,523	△9,490	△6,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	Financing activities			
短期借入金の純増加額	Increase in short-term bank loans	283	842	1,337
長期借入れによる収入	Proceeds from issuance of long-term bank loans	1,280	182	2,480
長期借入金の返済による支出	Repayment of long-term debt	△1,878	△670	△2,757
自己株式の取得による支出	Purchase of treasury stock	△1,954	△125	△205
自己株式の売却による収入	Proceeds from sale of treasury stock	—	—	155
配当金の支払額	Cash dividends paid to shareholders of the Company	△1,815	△1,795	△2,752
少数株主への配当金の支払額	Payment of dividends to minority interests	△32	△26	△30
少数株主からの払込による収入	Proceeds from payments by minority shareholders	—	—	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	Net cash used in financing activities	△4,117	△1,592	△1,758
現金および現金同等物に係る換算差額	Effect of exchange rate changes on cash and cash equivalents	△471	△762	363
現金および現金同等物の増加額（又は減少額）	Net increase (decrease) in cash and cash equivalents	2,282	△3,875	4,540
現金および現金同等物の期首残高	Cash and cash equivalents at beginning of the year	22,488	24,771	20,895
現金および現金同等物の期末残高	Cash and cash equivalents at end of the year	24,771	20,895	25,436

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単独貸借対照表（6年分）

## Six-Year Nonconsolidated Balance Sheets

### 科目

(単位：百万円 / ¥millions)

資産の部	Assets	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
<b>流動資産</b>	<b>Current assets</b>	62,181	50,646	43,373	47,401	51,973	53,653
現金および預金	Cash and bank deposits	5,450	3,363	4,080	9,400	6,432	11,723
受取手形	Notes receivable	3,694	4,755	2,855	3,424	3,592	3,604
売掛金	Accounts receivable	14,396	18,178	14,802	15,374	19,898	22,212
有価証券	Marketable securities	32,466	12,279	11,176	9,701	11,741	2,746
たな卸資産	Inventories	3,880	5,720	5,300	4,348	5,246	7,053
繰延税金資産	Deferred tax assets	476	980	556	612	1,107	1,253
その他	Others	1,978	5,475	4,676	4,563	3,955	5,073
貸倒引当金	Allowance for doubtful accounts	△159	△104	△72	△21	△2	△14
<b>固定資産</b>	<b>Fixed assets</b>	34,707	60,521	79,034	73,907	90,470	97,409
有形固定資産	Property, plant and equipment	13,126	14,778	15,513	12,723	12,902	18,801
建物	Buildings	4,186	4,281	4,774	4,474	4,407	7,010
構築物	Structures	385	363	346	317	310	379
機械および装置	Machinery and equipment	1,550	2,036	2,962	2,443	2,019	2,725
車両および運搬具	Vehicles	9	18	12	8	6	3
工具器具および備品	Tools and fixtures	662	838	875	694	737	1,336
土地	Land	6,188	6,188	6,189	4,591	4,697	4,708
建設仮勘定	Construction in progress	142	1,061	351	193	724	2,638
無形固定資産	Intangible assets	324	271	1,029	890	1,444	2,626
投資その他の資産	Investment and other assets	21,257	45,460	62,490	60,293	76,123	75,981
投資有価証券	Investment securities	1,564	23,979	41,080	37,240	50,630	54,954
関係会社株式	Securities of subsidiaries and affiliates	9,403	10,261	10,291	12,291	12,291	12,361
その他の関係会社株式	Securities of other affiliates	—	—	—	—	—	758
出資金	Investments	3,373	2,709	3,258	3,008	2,906	—
関係会社出資金	Investments in subsidiaries and affiliates	4,162	4,162	4,162	4,162	4,162	4,162
繰延税金資産	Deferred tax assets	542	1,267	—	—	—	—
前払年金費用	Prepaid pension expenses	—	—	—	—	299	258
その他	Others	2,223	3,391	4,444	4,265	6,293	3,890
貸倒引当金	Allowance for doubtful accounts	△10	△311	△745	△675	△461	△405
<b>資産合計</b>	<b>Total assets</b>	96,889	111,168	122,407	121,309	142,444	151,063

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 科目

(単位：百万円 / ¥millions)

負債の部	Liabilities	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
<b>流動負債</b>	<b>Current liabilities</b>	12,389	23,834	12,523	13,006	19,994	20,094
支払手形	Notes payable	145	204	121	121	184	46
買掛金	Accounts payable	7,902	11,623	7,913	7,936	9,769	10,502
1年以内返済予定長期借入金	Current portion of long-term debt	—	3,130	840	—	2,580	360
未払金	Accrued payable	763	2,344	958	1,042	1,756	3,058
未払費用	Accrued expenses	272	279	244	259	275	301
未払法人税等	Income taxes payable	2,044	4,415	988	2,184	3,812	3,939
賞与引当金	Accrued bonuses	1,207	1,698	1,296	1,383	1,472	1,732
その他	Others	56	141	163	81	142	153
<b>固定負債</b>	<b>Long-term liabilities</b>	5,242	2,175	11,623	11,186	13,057	14,508
長期借入金	Long-term debt	3,970	840	2,360	2,940	360	2,480
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	—	—	7,832	6,532	11,227	10,517
退職給付引当金	Reserve for employee retirement benefits	—	66	124	354	70	105
役員退職給与引当金	Retirement benefits for directors	913	838	848	899	922	816
長期未払金	Long-term accrued payable	358	431	457	460	478	557
その他	Others	—	—	—	—	—	31
<b>負債合計</b>	<b>Total liabilities</b>	17,631	26,010	24,147	24,192	33,052	34,603
<b>資本の部</b>	<b>Shareholders' Equity</b>						
資本金	Common stock	19,556	19,556	19,556	—	—	—
資本準備金	Additional paid-in capital	28,118	28,118	28,118	—	—	—
利益準備金	Legal reserve	2,251	2,423	2,638	—	—	—
その他の剰余金	Retained earnings	29,331	35,060	35,168	—	—	—
配当積立金	Dividend reserve	30	30	30	—	—	—
別途積立金	Other reserve	11,150	12,150	13,400	—	—	—
当期末処分利益 (うち当期純利益)	Unappropriated retained earnings (Net income for the year)	18,151	22,880	21,738	—	—	—
5,452	7,615	2,468	—	—	—	—	
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>Unrealized holding gain on other securities</b>	—	—	12,824	—	—	—
自己株式	Treasury stock, at cost	—	—	△45	—	—	—
<b>資本合計</b>	<b>Total shareholders' equity</b>	79,257	85,157	98,260	—	—	—
資本金	Common stock	—	—	—	19,556	19,556	19,556
資本剰余金	Capital surplus	—	—	—	28,118	28,118	28,248
資本準備金	Capital reserve	—	—	—	28,118	28,118	28,248
利益剰余金	Retained earnings	—	—	—	39,497	45,158	52,617
利益準備金	General reserve	—	—	—	2,638	2,638	2,638
任意積立金	Voluntary reserve	—	—	—	13,980	14,980	15,980
当期末処分利益	Unappropriated retained earnings	—	—	—	22,879	27,540	33,999
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>Unrealized holding gain on other securities</b>	—	—	—	11,944	18,684	17,872
自己株式	Treasury stock, at cost	—	—	—	△2,000	△2,126	△1,834
<b>資本合計</b>	<b>Total shareholders' equity</b>	—	—	—	97,116	109,391	116,460
<b>負債および資本合計</b>	<b>Total liabilities and shareholders' equity</b>	96,889	111,168	122,407	121,309	142,444	151,063

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単独損益計算書（6年分）

Six-Year Nonconsolidated Statements of Income

科目

(単位：百万円 / ¥ millions)

		2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月
売上高	Net sales	42,057	52,541	42,801	45,875	50,906	65,058
売上原価	Cost of sales	26,742	31,328	26,881	28,595	31,762	40,824
売上総利益	Gross profit	15,315	21,212	15,919	17,280	19,143	24,233
販売費および一般管理費	Selling, general and administrative expenses	7,331	8,279	7,939	8,368	9,088	9,920
営業利益	Operating income	7,983	12,933	7,980	8,911	10,055	14,313
営業外収益	Other income	2,519	2,473	2,202	1,726	2,462	3,066
受取利息および配当金	Interest and dividend income	1,047	1,400	1,603	1,433	1,453	1,499
売買目的有価証券運用益	Profit on sale / revaluation of available-for-sale securities	—	—	—	—	289	34
有価証券売却益	Gain on sales of securities	1,207	—	0	—	—	—
投資有価証券売却益	Gain on sales of investment securities	—	—	277	36	236	455
為替差益	Exchange gain	—	436	80	—	—	605
その他	Others	265	637	240	256	482	471
営業外費用	Other expenses	900	626	907	1,073	750	151
支払利息および割引料	Interest expenses	54	51	40	20	19	21
有価証券売却損	Loss on sales of securities	59	—	1	47	—	—
売買目的有価証券運用損	Realized and unrealized loss on trading securities, net	—	287	211	193	—	—
為替差損	Exchange loss	48	—	—	282	317	—
その他	Others	739	288	654	531	411	130
経常利益	Ordinary income	9,602	14,779	9,275	9,565	11,767	17,228
特別利益	Extraordinary gain	1,189	1,313	0	9	691	35
固定資産売却益	Gain on sales of fixed assets	64	2	0	9	118	35
投資有価証券売却益	Gain on sales of investment securities	1,125	—	—	—	—	—
退職給付信託設定益	Gain arising from, valued at fair market,	—	1,310	—	—	573	—
特別損失	Extraordinary loss	1,603	3,200	5,308	3,453	98	941
固定資産売却損	Loss on sales of fixed assets	0	4	—	1,282	—	0
投資有価証券評価損	Loss on revaluation of investment securities	1,398	175	4,945	2,121	5	—
関係会社株式評価損	Loss on revaluation of securities of subsidiaries and affiliates	—	6	89	—	—	556
退職給付費用	Pension cost	—	2,331	—	—	—	—
その他	Others	205	682	272	50	92	385
税引前当期純利益	Income before income taxes and other adjustments	9,188	12,892	3,967	6,121	12,360	16,322
法人税、住民税および事業税	Income taxes-current	3,925	6,505	1,280	2,833	5,280	6,364
法人税等調整額	Income taxed-deferred, net	△188	△1,228	218	△256	△413	△298
当期純利益	Net income	5,452	7,615	2,468	3,545	7,494	10,256
前期繰越利益	Beginning retained earnings	11,869	15,264	19,270	19,334	20,045	23,742
過年度税効果調整額	Cumulative effect of adopting deferred tax accounting	830	—	—	—	—	—
当期末処分利益	Ending retained earnings	18,151	22,880	21,738	22,879	27,540	33,999

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

投資家情報

Investors' Information

(2005年3月31日現在)

■ 会社概要 Corporate Data

社名	ウシオ電機株式会社
本社住所	東京都千代田区大手町2-6-1朝日東海ビル TEL: 03-3242-1811 (大代表) FAX: 03-3242-0695
URL	http://www.ushio.co.jp
設立	1964年(昭和39年)3月
資本金	19,556,326,316円
発行済株式数	139,628,721株
上場証券取引所	東京および大阪証券取引所 市場第一部
監査法人	新日本監査法人
名義書換代理人	中央三井信託銀行

役員 (2005年6月29日現在)

代表取締役会長	牛尾 治朗
代表取締役副会長	田中 昭洋
代表取締役社長	菅田 史朗
取締役	後藤 学
取締役	志手 總一
取締役	多木 正
取締役	大島 誠司
取締役	牛尾 志朗
常勤監査役	四分一 直
常勤監査役(社外)	三村 隆久
常勤監査役	垣見 勝紀
監査役(社外)	関口 伸二
監査役(社外)	服部 秀一

事業所一覧

**本社**  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1朝日東海ビル  
TEL. 03-3242-1811 (代表) FAX. 03-3242-0695

製造・研究開発機構

**播磨事業所**  
〒671-0224 兵庫県姫路市別所町佐土1194  
TEL. 0792-52-4381 (代表) FAX. 0792-53-6262

**横浜事業所**  
〒225-0004 横浜市青葉区元石川町6409  
TEL. 045-901-2571 (代表) FAX. 045-901-1004

**御殿場事業所**  
〒412-0038 静岡県御殿場市駒門1-90  
TEL. 0550-87-3000 (代表) FAX. 0550-87-3200

販売機構

**東京営業本部**  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1朝日東海ビル  
TEL. 03-3242-5610 (代表) FAX. 03-3242-2700

**システムカンパニー営業部**  
〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘5-14-6はづきビル  
TEL. 045-901-2572 (代表) FAX. 045-901-0883

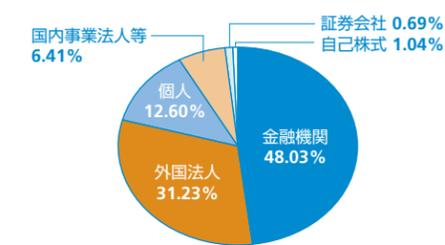
**大阪支店**  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-13-9新大阪MTビル1号館  
TEL. 06-6306-5711 (代表) FAX. 06-6306-5718

■ 所有者別持株数・比率 Stock Breakdown by Holders

決算年月	2003年3月		2004年3月		2005年3月	
	(千株)	(%)	(千株)	(%)	(千株)	(%)
金融機関	67,391	48.27	70,263	50.32	67,057	48.03
外国法人	34,843	24.95	38,160	27.33	43,612	31.23
個人	21,536	15.43	19,335	13.85	17,595	12.60
国内事業法人等	12,995	9.31	8,965	6.42	8,945	6.41
自己株式	1,668	1.19	1,743	1.25	1,455	1.04
証券会社	1,193	0.85	1,153	0.83	960	0.69

この分布状況は、株主名簿の名義に従ったものです。

株式の分布状況  
Composition of Shareholders



# 国内・海外ネットワーク

## Group Network

### 国内主要グループ会社（8社）

#### ウシオライティング株式会社

営業品目：照明用ハロゲンランプ、照明用メタルハライドランプ、特殊ヒーター、ファイバー光源装置、LED光源の製造・販売、映像・照明システム、海洋照明システム、防犯・防災照明システム、精密露光システム、プラスチック成形・処理システム、食品包装システム等の販売

#### ■ 福岡本社・工場

〒679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治860-22  
TEL. 0790-22-6371 (代)  
FAX. 0790-22-6502

#### ■ 東京本社

〒102-0075  
東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町ビル  
TEL. 03-3288-8411 (代)  
FAX. 03-3288-8400

#### ■ 大阪支店

〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5-13-9 新大阪MTビル1号館  
TEL. 06-6886-2622 (代)  
FAX. 06-6886-0660

#### ■ 名古屋支店

〒461-0002  
名古屋市中区代官町39-17 鹿島貿易ビル  
TEL. 052-936-1255 (代)  
FAX. 052-936-1256

#### ■ 福岡営業所

〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南1-8-12 博多駅南MTビル  
TEL. 092-411-5945 (代)  
FAX. 092-411-5996

#### ■ つくばテクニカルセンター

〒300-2635 茨城県つくば市東光台5-2-4  
TEL. 029-847-7421 (代)  
FAX. 029-847-8475

#### 兵庫ウシオライティング株式会社

営業品目：照明用ハロゲンランプ等の製造

#### ■ 本社 工場

〒671-2517  
兵庫県宍粟市山崎町生谷159-1  
TEL. 0790-64-4832 (代)  
FAX. 0790-64-4831

#### ■ 中工場

〒671-2531  
兵庫県宍粟市山崎町中389  
TEL.0790-64-1770 (代)  
FAX.0790-64-1771

#### 群馬ウシオ電機株式会社

営業品目：事務用機器、医療機器、健康産業機器等の製造、販売

〒374-8521 群馬県館林市近藤町262  
TEL. 0276-73-4611 (代)  
FAX. 0276-74-7471

#### 筑波ウシオ電機株式会社

営業品目：クセノンフラッシュランプ、小型蛍光管等の製造、販売

〒300-2635 茨城県つくば市東光台5-2-1  
TEL. 029-847-5111 (代)  
FAX. 029-847-5051

#### 株式会社ジーベックス

営業品目：映写システム、音響・映像システム、附帯設備等の販売

#### ■ 本社

〒102-0075  
東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町ビル  
TEL. 03-3234-9100 (代)  
FAX. 03-3234-9700

#### ■ 大阪支店

〒542-0063 大阪市中央区東平2-3-9 RSビル上六  
TEL. 06-6764-7476 (代)  
FAX. 06-6764-7478

#### 株式会社ウシオスベックス

営業品目：照明器具、光学機器の製造、販売、照明空間設計等

#### ■ 本社

〒124-0006 東京都葛飾区堀切1-20-19  
TEL. 03-5672-7711 (代)  
FAX. 03-5672-7734

#### ■ 恵比寿事業所

〒150-0022  
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6 第21荒井ビル  
TEL. 03-5768-3681 (代)  
FAX. 03-5768-3690

#### ■ 大阪支店

〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5-6-9 新大阪第一ビル  
TEL. 06-6305-3501 (代)  
FAX. 06-6305-5940

#### ■ USHIOSPAX FUKUOKA

〒810-0041  
福岡市中央区大名1-8-30-1  
TEL. 092-732-4211 (代)  
FAX. 092-732-4311

#### ギガフォトン株式会社

営業品目：半導体露光用エキシマレーザの研究・開発・製造・販売・サービス

〒323-8558 栃木県小山市横倉新田400  
TEL. 0285-28-8410 (代)  
FAX. 0285-28-8439

#### ■ 平塚事業所

〒254-8567 神奈川県平塚市万田1200  
TEL. 0463-35-8847 (代)  
FAX. 0463-35-9352

#### ■ 東日本カスタマサポートセンタ

〒323-8558  
栃木県小山市横倉新田400 (小山事業所内)  
TEL. 0285-28-8424 (代)  
FAX. 0285-28-8439

#### ■ 西日本カスタマサポートセンタ

〒561-0857 大阪府豊中市服部寿町5-133  
TEL. 06-6865-0089 (代)  
FAX. 06-6865-0111

#### ■ 西日本カスタマサポートセンタ九州事務所

〒854-0067  
長崎県諫早市久山台16-1  
TEL.0957-26-4360 (代)  
FAX.0957-26-1720

#### ■ 国外カスタマサポートセンタ

〒323-8558  
栃木県小山市横倉新田400 (小山事業所内)  
TEL.0285-28-8423 (代)  
FAX.0285-28-8429

#### 日本電子技術株式会社

営業品目：制御回路設計

〒229-0021 神奈川県相模原市高根2-2-27  
TEL. 042-756-9400 (代)  
FAX. 042-758-6847



### 海外販売現地法人（12社）

#### NORTH AMERICA

##### USHIO AMERICA, INC.

営業品目：超高压UVランプ、OA機器用光源、メタルハライドランプ、ハロゲンランプ等の製造、販売

5440 Cerritos Avenue, Cypress, CA 90630, U.S.A.  
TEL. +1-714-236-8600  
FAX. +1-714-229-3180

##### ■ EASTERN Division Branch Office

16-00 Route 208 South Fair Lawn, NJ 07410, U.S.A.  
TEL. +1-201-703-3920  
FAX. +1-201-703-3924

##### ■ SOUTHWESTERN Regional Office

6839 North Trailway Circle, Parker, CO 80134, U.S.A.  
TEL. +1-303-805-8535  
FAX. +1-800-776-3641

##### ■ CENTRAL Regional Office

14795 West 101st Avenue, Suite B, Dyer, IN 46311, U.S.A.  
TEL. +1-219-365-7492  
FAX. +1-219-365-7496

##### ■ SOUTHEASTERN Regional Office

6170 Mid-Metro Drive, Suite 2  
Fort Myers, FL33912, U.S.A.  
TEL. +1-239-931-0998  
FAX. +1-239-931-0980

##### ■ OREGON Operations Division

2050 East Mountainview Drive, Newberg, OR 97132, U.S.A.  
TEL. +1-503-538-6515  
FAX. +1-503-538-4333

##### ■ IRVINE Factory

14 Mason Avenue, Irvine, CA 92618 U.S.A.  
TEL. +1-949-472-1020  
FAX. +1-949-472-0159

##### USHIO CANADA, INC.

営業品目：超高压UVランプ、メタルハライドランプ、ハロゲンランプ等の販売

2730 Brighton Road, Oakville, Ontario, L6H 5T4, Canada  
TEL. +1-905-829-3338  
FAX. +1-905-829-5343

##### CHRISTIE DIGITAL SYSTEMS USA, INC.

営業品目：劇場用映写システム及び光源・関連機材の製造、販売

10550 Camden Drive, Cypress, CA 90630, U.S.A.  
TEL. +1-714-236-8610  
FAX. +1-714-503-3385

##### ■ JAPAN Branch

2/F, Ariake-Frontier A Bldg., 3-1-25, Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-0063  
TEL. 03-3599-7481 FAX. 03-3599-7482

#### EUROPE

##### USHIO EUROPE B.V.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ及び光システム製品等の販売

Sky Park, Breguetlaan 16-18, 1438BC Oude Meer, The Netherlands  
TEL. +31-20-446-9333  
FAX. +31-20-446-0360

##### USHIO FRANCE S.A.R.L.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ等の販売

Z.I. du Vert Galant-Allée St. Simon B.P. 7043-St. Ouen L'Aumome 95051, Cergy Pontoise Cedex, France  
TEL. +33-1-34-64-94-94  
FAX. +33-1-34-64-44-97

##### USHIO DEUTSCHLAND GmbH

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ等の販売

Münchner Straße 10, 85643 Steinhöring, Germany  
TEL. +49-80-949-054-0  
FAX. +49-80-949-054-190

##### USHIO U.K., LTD.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ等の販売

Unit 25&26, Rabans Close, Rabans Lane Industrial Estate, Aylesbury, Bucks HP19 8TR, U.K.  
TEL. +44-1296-339-988  
FAX. +44-1296-339-908

#### ASIA

##### USHIO SINGAPORE PTE LTD.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ及び光システム製品等の販売

#1, Jalan Kilang #05-01, Dynasty Industrial Bldg., Singapore 159402  
TEL. +65-6274-5311 FAX. +65-6274-5300

##### USHIO TAIWAN, INC.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ、各種露光装置、光学装置、レーザー等の販売

10/F, #31, Sec.1, Chung-Shiaw E. Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.  
TEL. +886-2-2322-4103  
FAX. +886-2-2394-4140

##### USHIO KOREA, INC.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、ハロゲンランプ、各種露光装置、光学装置、レーザー等の販売

14/F Dukheung Bldg., 1328-10, Seocho-Dong, Seocho-ku, Seoul, Korea  
TEL. +82-2-587-1115  
FAX. +82-2-587-1118

##### USHIO SHANGHAI, INC.

営業品目：超高压UVランプ、クセノンショートアークランプ、OA機器用光源及び光学装置等の販売

Rm.041, 31/F, HSBC Tower, 101 Yincheng East Road, Pudong New Area, Shanghai, P.R.C.  
TEL. +86-21-6841-1135  
FAX. +86-21-6841-1150

##### USHIO LIGHTING (HONG KONG) CO., LTD.

営業品目：プラスチック成形・処理システム等の販売

Suites 2209-11, 22/F, Tower6, The Gateway, 9 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong  
TEL. +852-2305-1802  
FAX. +852-2305-1803

## 海外生産現地法人（6社）

### NORTH AMERICA

#### CHRISTIE DIGITAL SYSTEMS CANADA, INC.

営業品目：監視制御システム、各種プロジェクター等の開発、製造

809 Wellington Street, North Kitchener,  
Ontario, Canada N2G 4Y7  
TEL. +1-519-744-8005  
FAX. +1-519-749-3136

### EUROPE

#### BLV LICHT- UND VAKUUMTECHNIK GmbH

営業品目：メタルハライドランプ、ハロゲンランプ等の製造、販売

Münchner Straße 10, 85643  
Steinhöring, Germany  
TEL. +49-8094-906-0  
FAX. +49-8094-906-111

### ASIA

#### TAIWAN USHIO LIGHTING, INC.

営業品目：ハロゲンランプ等の製造、販売

#82, Taiho Road, Taiho-Li, Chupei, Hsinchu  
Hsien Taiwan, R.O.C.  
TEL. +886-35-51-3207  
FAX. +886-35-51-4523

#### USHIO (SUZHOU) CO., LTD.

営業品目：OA機器用ハロゲンランプ・希ガス蛍光ランプ、プロジェクター用光源等の製造

6, Yuyang Street, Suzhou New District,  
Suzhou, P.R.C.  
TEL. +86-512-6807-6628  
FAX. +86-512-6809-9271

#### USHIO HONG KONG LTD.

営業品目：OA機器用ハロゲンランプ・希ガス蛍光ランプ及びユニット等の製造

Suites 3113-14, 31/F, Tower 6, The Gateway,  
9 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong  
Kong  
TEL. +852-2756-7880  
FAX. +852-2798-9861

#### ■ Yuen Long Plant

29-31, Wang Lok Street, Yuen Long Industrial  
Estate, Yuen Long, New Territories, Hong Kong  
TEL. +852-2478-0090  
FAX. +852-2476-6701

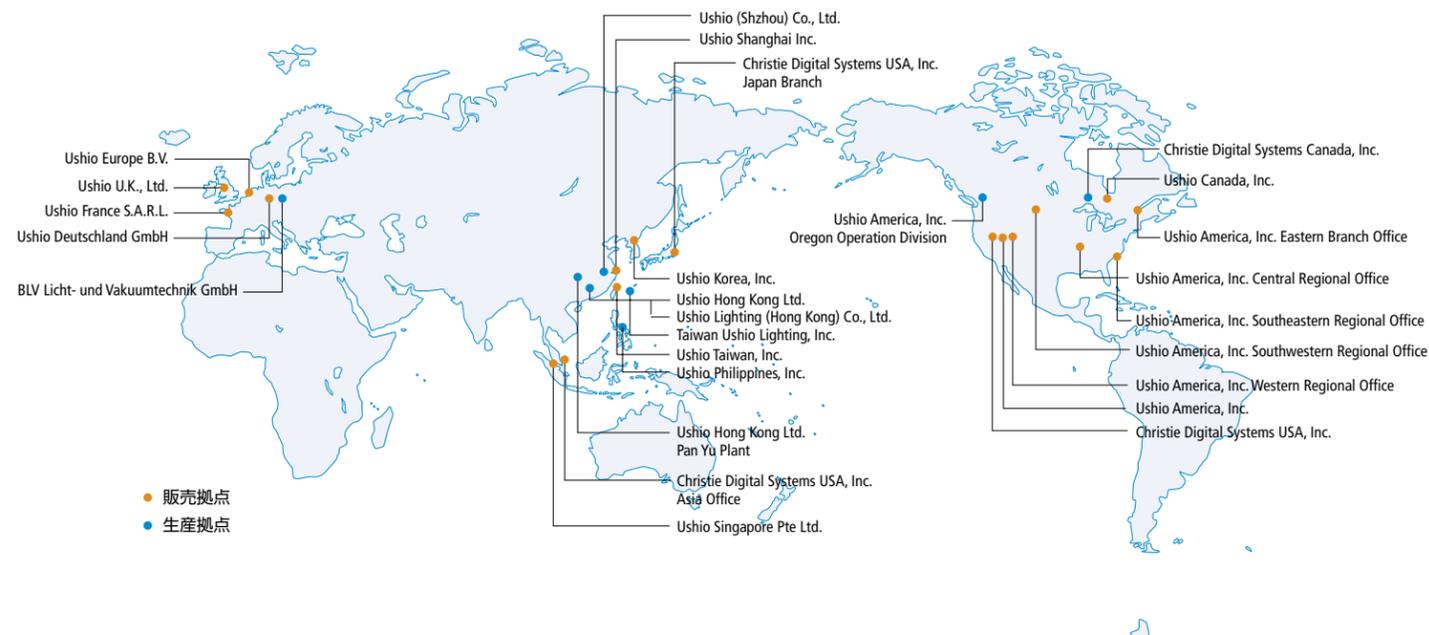
#### ■ Pan Yu Plant

Ushio Factory, Kou Shui Heng, Shi Ji Town,  
Pan Yu District, Guang Zhou City, Guang Dong  
Province 511450, P.R.C.  
TEL. +86-20-3456-9158  
FAX. +86-20-3456-8626

#### USHIO PHILIPPINES, INC.

営業品目：照明用・OA機器用ハロゲンランプ等の製造

First Cavite Industrial Estate, Barangay  
Langkaan, Dasmarinas, Cavite, The Philippines  
TEL. +63-46-402-1422  
FAX. +63-46-402-1421



未来は「光」でおもしろくなる

# USHIO

## 「光」でできること、「光」だからできること

高精度化、超微細化、低温処理化がどんどん進む技術革新の真ただ中で、光がこれらのボトルネックを解決する新しい有効な手段として、さまざまな分野で重要な役割を担い始めています。これからの光創造企業集団・ウシオに、どうぞご期待ください。

インターネットでUSHIOのホームページをご覧ください。  
<http://www.ushio.co.jp>



この印刷物は、FSC認証紙を使用し、植物油100%の「大豆油インキ」を使い印刷しています。また、省資源化（フィルムレス）に繋がるCTPにより製版しています。



### © ミックス品

FSC認証林、管理された森林、リサイクルされた木材や木材繊維からの製品グループです  
[www.fsc.org](http://www.fsc.org) Cert no. SGS-COC-1328  
© 1996 Forest Stewardship Council

本冊子に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

発行：ウシオ電機株式会社 広報部  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル  
TEL: 03-3242-1815 FAX: 03-3245-0589